

## 平成22年第7回邑南町議会定例会(第1日)会議録

1. 招集月日 平成22年 9 月 1 日 告示  
 2. 招集の場所 邑南町役場 議場  
 3. 開 会 平成22年 9 月 6 日 (月) 午前 9 時30分  
 散会 午後 3 時 5 分

4. 応招議員

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1 番	大屋光宏	2 番	宮田秀行	3 番	中村昌史	5 番	日野原利郎
6 番	清水優文	7 番	辰田直久	8 番	松本 正	9 番	亀山和巳
10 番	日高 學	11 番	石橋純二	12 番	高本勝藏	13 番	山中康樹
14 番	長谷川敏郎	15 番	日高勝明	16 番	三上 徹		

5. 不応招議員 なし

6. 出席議員 15名

議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名	議席	氏 名
1 番	大屋光宏	2 番	宮田秀行	3 番	中村昌史	5 番	日野原利郎
6 番	清水優文	7 番	辰田直久	8 番	松本 正	9 番	亀山和巳
10 番	日高 學	11 番	石橋純二	12 番	高本勝藏	13 番	山中康樹
14 番	長谷川敏郎	15 番	日高勝明	16 番	三上 徹		

7. 欠席議員 なし

議席	氏 名						

8. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	石橋良治	副町長	桑野 修	総務課長	日高禎治
定住企画課長	東 義正	財政課長	藤間 修	情報推進課長	安原賢二
町民課長	表 正司	税務課長	三上俊二	福祉課長	三上洋司
農林振興課長	坂本敬三	建設課長	田中節也	水道課長	松川好史
保健課長	大矢輝美	会計管理者	藤田憲司	瑞穂支所長	佐々木孝義
羽須美支所長	福田誠治	教育委員長	河野義則	教育長	土居達也
学校教育課長	細貝芳弘	生涯学習課長	森岡弘典	監査委員	實田 讓

9. 本会議に職務のため出席した者の氏名

議会事務局長 屋原 進 事務局主任 日高 泉

10. 町長提出議案の題目 別紙のとおり

11. 会議録署名議員の氏名

議席	氏 名	議席	氏 名
15 番	日高勝明	1 番	大屋光宏

12. 本日の会議の大要は別紙のとおりである。

## 平成22年第7回邑南町議会定例会議事日程(第1日)

平成22年9月6日(月) 午前9時30分開議

開会、開議宣告

議事日程の報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 町長中間行政報告

日程第4 報告事項

報告第9号 専決処分の報告について

報告第10号 専決処分の報告について

日程第5 議案の上程、説明

議案第76号 平成21年度邑南町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第77号 平成21年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第78号 平成21年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第79号 平成21年度邑南町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第80号 平成21年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第81号 平成21年度邑南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第82号 平成21年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第83号 平成21年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第84号 邑南町奨学基金条例の一部改正について

議案第85号 邑南町町営住宅管理条例の一部改正について

議案第86号 邑南町農地有効利用支援整備事業分担金徴収条例の制定について

議案第87号 平成22年度邑南町一般会計補正予算第2号について

議案第88号 平成22年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号について

議案第89号 平成22年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号について

議案第90号 平成22年度邑南町老人保健事業特別会計補正予算第1号について

議案第91号 平成22年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号について

議案第92号 平成22年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号について

議案第93号 平成22年度邑南町下水道事業特別会計補正予算第2号について

議案第94号 平成22年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号について

日程第6 請願文書表

請願第2号 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願

# 平成22年第7回邑南町議会定例会(第1日)会議録

平成22年 9 月 6 日 (月)

—— 午前 9 時 30 分 開会 ——

~~~~~○~~~~~

## 開会宣告

- 議長(三上徹) おはようございます。定足数に達しておりますので、ただ今から、平成22年第7回邑南町議会、定例会を開会いたします。議長の諸般の報告につきましては、お手元に配付のとおりでございますので、ご覧をいただきたいと思っております。これより、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布のとおりでございます。

~~~~~○~~~~~

## 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長(三上徹) 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。15番、日高勝明議員、1番、大屋議員、お願いをいたします。

~~~~~○~~~~~

## 日程第2 会期の決定

- 議長(三上徹) 日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りをいたします。本定例会の会期は、本日、9月6日から9月17日までの12日、12日間といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 議長(三上徹) 異議なしと認めます。よって、会期は、本日、9月6日から9月16、17日までの12日間とすることに決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

## 日程第3 町長中間行政報告

- 議長(三上徹) 日程第3、町長中間行政報告。これより町長に中間行政報告及び諸般の報告を行っていただきます。

- 石橋町長(石橋良治) はい、議長。

- 議長(三上徹) はい、石橋町長。

- 石橋町長(石橋良治) 平成22年第7回邑南町議会定例会にあたり、決算認定案、条例案、予算案の説明に先立ちまして、決算状況、財政状況及び現在進めております諸施策等についてご報告申し上げ、町議会並びに町民各位のご理解とご協、ご協力を賜りたいと存じます。初めに、平成21年度における各会計の決算につきましては、本定例会にご承認をお願いするよう提案をしておりますが、その概要につきましてご説明いたします。各会計とも、平成21年度の決算でございますが、本年5月末日をもって出納閉鎖を行ったところでございます。まず、一般会計につきましては、歳入総額128億3千464万9千円に対しまして歳出総額125億9千381万3千円で、差し引き2億4千83万6千円の黒字でございましたが、繰越明許によります翌年度へ繰り越すべき財源9千218万9千円を差し引きますと、実質収支額は1億4千864万7千円の黒字でございます。次に、特別会計についてでございますが、国民健康保険事業特別会計は、歳入総額14億7千360万9千円に対しまして、歳出総額14億5千339万円で、差し引き2千21万9千円の黒字。国民健康保険直営診療所事業特別会計は、歳入総額8千179万7千円に対しまして、歳出総額8

千5万6千円で、差し引き174万1千円の黒字。老人保健事業特別会計は、歳入総額1千296万8千円に対しまして、歳出総額1千267万1千円で、差し引き29万7千円の黒字。後期高齢者医療事業特別会計は、歳入総額3億5千226万7千円に対しまして、歳出総額3億5千5万4千円で、差し引き221万3千円の黒字。簡易水、簡易水道事業特別会計は、歳入総額5億8千100万9千円に対しまして、歳出総額5億7千870万9千円で、差し引き230万円の黒字。下水道事業特別会計は、歳入総額11億2千734万4千円に対しまして、歳出総額11億2千312万円で、差し引き422万4千円の黒字。電気通信事業特別会計は、歳入総額10億8千3万2千円に対しまして、歳出総額10億7千815万1千円で、差し引き188万1千円の黒字でしたが、繰越明許によります翌年度へ繰り越すべき財源4千円を差し引きますと、実質収支額は187万7千円の黒字でございます。決算に基づく普通会計の財政指数につきましては、前年対比で、公債費比率は13.6%で0.1ポイントの減少、起債制限比率は、11.4%で2.4ポイントの減少、経常収支比率は90.4%で3.1ポイントの減少となっております。財政健全化法にかかわる判断基準、基準のうち、実質赤字比率、また連結実質赤字比率については赤字額がないため早期健全化基準に該当する数値はございません。実質公債費比率は19.4%、将来負担比率は181.4%となっておりますが、いずれも早期健全化基準となる数値を下回っております。簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計にかかわる資金不足比率については、資金不足額がないため経営健全化基、基準に該当する数値はございません。詳細につきましては、後ほど議案を提出する際にご説明いたしますので、よろしくお願いたします。次に、本年度の財政運営について申し上げます。本年度の普通交付税の配分は7月23日決定されました。概要は、普通交付税が60億8千530万円、臨時財政対策債発行可能額が5億3千330万円で、合わせて66億1千860万円となり、平成21年度と比較して3億4千850万円、5.6%の増額となっております。この増額につきましては、国の経済対策関係にて昨年度から引き続き地方再生対策が、また本年度から生活防衛のための緊急対策に基づき地方雇用創出、創出費等の算入が新たに配分されることになり、1億9千600万円の増額、他に病院関係等を含めた保健、福祉関係の厚生費の算入が増額となったのが大きな要因でございます。現在、平成21年度の決算統計及び普通交付税の算定結果により、中期財政計画の見直し及び公債費負担適正化計画の策定を行っております。今後はこの計画に基づき、また過疎計画との整合を図りながら、事業の重点化と経費の効率的な配分を一層進め、職員数、給与の適正化、町債発行の抑制、町債の繰上償還を前提に減債基金の積立を行い、効率的な行財政の運営を図るとともに、財政健全化に努めてまいりたいと考えております。次に、瑞穂支所移転改築工事について申し上げます。6月から作業に入っております瑞穂支所移転改築工事につきましては、7月下旬に基礎工事が完了し、8月より木工工事に切り掛かり、ほぼ屋根瓦葺きが完了したところでございます。工事の進捗率は、概ね50%で、11月末の工期に向け順調に進んでおります。次に、過疎地域自立促進計画の策定について申し上げます。過疎地域自立促進計画につきましては、当初9月議会定例会に提案する予定で進めておりましたが、今回の改正では特にソフト事業が認められたこともあって、島根県の指導も受けながら進めてきたところ、予想以上に時間を要し、このままでは町民の皆さんや議会の意見が十分反映されないこともあり、本定例会に提案することを見送りました。現在、パブリックコメント等により町民の皆さんのご意見を募集しております。今後、島根県との協議を経て、改めて提案したいと考えておりますのでよろしくお願いたします。次に、国勢調査の実施について申し上げます。本年10月1日を基準日として実施されます国勢調査でございますが、現在、指導員、調査員の任命及び説明会を終えたところでござい

ます。国勢調査結果は様々な基礎資料となり、特に交付税の算定基礎となる重要な指定統計調査でございます。9月23日から調査員が調査票を配付し、10月7日までが調査票の回収期間となっておりますので、調査漏れのないようご協力をお願いいたします。次に、定住促進対策について申し上げます。この度、市町村定住支援体制強化交付金による定住にかかわる専門員を一般募集し、9月1日から定住企画課内に1名の定住支援コーディネーターを配置いたしました。町内への定住希望者の相談やアフターフォローまできめ細かな相談に対処してまいりたいと考えております。また、空き家の有効活用と定住促進を図るため、町内の宅地だけ、宅地建物取引事業所と連携した邑南町UIターン住宅相談センターを7月に定住企画課内に設置いたしました。引き続き空き家情報の収集や調査、登録業務を行なうとともに、空き家利用希望者の相談や仲介などに対応してまいりたいと考えております。さらに、また、UIターン者等が町に登録された空き家を利用される場合の改修費の支援として、100万円を上限に改修経費の2分の1の助成が受けられる空き家改修補助制度を新たに創設しました。今後とも空き家の活用も合わせた定住促進を図ってまいりたいと考えております。次に、生活交通対策について申し上げます。石見交通株式会社からの川本線の廃止通告に対する現在の状況についてでございますが、まず、存続要望活動について申し上げます。今日まで島根県を窓口として関係市町が協議をしながら石見交通株式会社と交渉を行なっておりますが、依然として厳しい状況には変わりなく、今後の交渉に全力で臨みたいと考えております。また、川本線の代替交通につきましてもは存続要望と同時並行で検討を進めておりますが、仮に廃止が決定されし、決定した場合の今後の方針として、新たに町営バス2台を購入し、委託運行で対応する予定で、ダイヤや便数につきましてもは基本的に現在の川本線を引き継ぐ考えでおります。いずれにしましても、石見交通株式会社にこのまま存続していただけることが第1と考えておりますので、今後とも県及び関係市町とともに交渉してまいりたいと考えております。次に、町立研修施設の整備について申し上げます。平成21年度繰越事業のきめ細かな臨時交付金事業により建設を計画しております町立研修施設、施設の整備につきましてもは、現在詳細設計中であり、今後建築確認の許可が下り次第、工事着工を行なうこととしております。次に、庁舎等省エネグリーン化事業太陽光発電導入、省エネ化工事について申し上げます。国の地域グリーンニューディール基金により、しまね環境基金活用事業費補助金を受けて計画しておりました瑞穂支所及び中野公民館の太陽光発電及びLED照明設置工事につきましてもは、8月上旬に発注を済ませ、11月末の完成予定でございます。次に、農林商工等連携ビジョンの策定について申し上げます。第1次産業である農林漁業と第2次産業である加工、製造業、第3次産業である販売、流通業、観光業が連携して、売れる新商品の開発、販売や新サービスの開発あるいは農林水産物や加工品の生産方式や販売方式の開発を行うことにより、地域に新たな事業や産業を創出し、あわせて地域の雇用も生み出す、こうした形での若者の定住と地域経済の活性化を図る必要もあり、農林商工等の連携を考えております。昨年度に農林商工官が、官学の連携を考える会で検討してまいった結果、行政や町内の経済団体の情報の共有化とサービスの提供を目的とした、産業支援のワンストップサービスを行なう農林商工連携支援サポートセンター、仮称ではありますが、このようなサポートセンターを設置する方向で一致しました。また、観光協会の法人化につきましても、議会でも取りあげられ検討することとしておりましたし、観光協会の役員会や総会でも法人格の取得が了承されました。今後、観光協会が観光情報の発信、案内事業はもとより、収益事業にも着手できるよう進める必要があります。さらには今年6月にサテライトオフィス東京事務所を開設しております。そうした意味からも、それぞれの組織が連携して新しい本町の基幹産業である農林業を中心とした産業振興を実現するための今

後の施策の方向を明らかにする農林商工等連携ビジョンを今年度に策定することといたしましたので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。次に、雇用対策について申し上げます。今年4月から8月までの邑南町無料職業相談所での求職者数は34人、求人者数は77人で、内就業決定者数は28人となっております。また、広島県側への就職も視野に入れた取り組みとして、先般8月に開催いたしました北広島町との合同会社求人説明会では20名ほどの相談者があり、早速採用試験を受験する方などもおられ就職に向けて協議が進められています。また、あわせて開催いたしました定住施策の一環である農業の傍らウィンタースポーツを楽しむ生活様式を提案したスノーファーマーの現地説明会には、8名の参加があり、参加者の中にはその後定住に向けて協議を進めている方もおられます。今後も無料職業相談所をPRしながら、ハローワーク川本等とも連携をとりながら、雇用相談事務を進めてまいりたいと考えております。次に、田舎ツーリズム事業等について申し上げます。昨年度に引き続き邑智郡田舎体験交流協議会が事業主体となり7月23日から3日間、広島市から121名の小学生を受け入れ、農家民泊等で宿泊し、都市部では得られない生活の豊かさを体感していただきました。こうした取り組みを通じて、邑南町が子ども達の第二のふるさととなるよう、今後も都市と田舎との活発な交流を展開してまいりたいと考えております。また、インターシップ事業につきましては、本年度大学のインターン生1名を、8月9日から22日間邑南町で受け入れ、豊かな自然や伝統文化あるいは地域コミュニティの中で様々な体験をしていただきました。こうした経験をとおして、本町が有する魅力的な資源の活用策などについて、大学生の若い視点による提言をいただいておりますので、今後の定住施策に結びつけて行きたいと考えております。次に、全国で100歳以上の高齢者が所在不明になっている問題について、申し上げます。邑南町では、8月初旬において住民票のある100歳以上の高齢者が27名おられますが、現在、所在が確認されております。また、8月末現在の戸籍がある100歳以上の高齢者は115名おられ、内25名の方は、施設、自宅での所在が確認されております。戸籍附票上、海外が6名、戸籍附票上、住所がある方が15名、住、所、所在がわからない方が69名おられます。今後、調査をするとともに法務局の指導を待って、適切な処理を行いたいと思っております。次に、特別養護老人ホーム桃源の家の建て替えについて申し上げます。特別養護老人ホーム桃源の家は指定管理委託をしております社会福祉法人石見さくら会を事業主体として、平成22年度と平成23年度の2か年をかけて建て替えを行うことに決定しております。この度、社会福祉法人石見さくら会から建て替え位置を公立邑智病院に近接する中野地区に、また、実施設計は大旗連合建築設計株式会社にプロポーザル選考し決定したと報告を受けたところであります。今後、開発協議などの手続きを経て、敷地造成工事へ着手される見込みでございます。次に、保健事業について申し上げます。今年度の重点事業といたしまして、がん予防対策の推進に努めているところでございますが、8月22日島根県及び町内企業、各組織代表の方々のご協力を得て、がん予防フォーラムを開催し、多くの方にご参加いただき、町あげて検診受診率向上を訴えたところでございます。また、公立邑智病院にかねてから要望しておりました新型の乳がんマンモグラフィ検査機器が、県の助成を受けて整備されることになり、この秋から、子宮がん、乳がんセットの女性の検診が、町内でいつでも受診できる体制が整うこととなります。あわせて、これまで人間ドックにおきましても公立邑智病院では乳がん検診ができておりませんでした。今後は1日で全ての検診が実施できるようになります。特に女性の方には大変便利になり、早期発見にもつながるものと期待しているところでございます。次に、阿須那診療所について申し上げます。昨年7月末より阿須那診療所の常勤医師の退職により、これまで邑智病院石原院長先生、河野医院河野院長先生にお願いをして、週2日の診療等を行

っていただいた、いただいてきたところでございます。以後、関係機関の協力を得て医師募集をお願いしておりましたが、9月1日より藤本伸司先生に赴任していただき、常勤の体制により診療を行っております。これまで、ご協力いただきました石原院長先生、河野院長先生にはお世話になり感謝申しあげるところでございます。次に、農林業振興について申しあげます。まず、口蹄疫の発生によって、大きな打撃を受けられた宮崎県では、8月27日終息宣言が発表されました。心からお見舞い申しあげますとともに、今後の早期の復興を心からお祈り申しあげます。邑南町の畜産農家におきましても、いつ何時、口蹄疫等の家畜伝染病が発生するかわからないという危機感を持って、防疫を徹底していただきたいと思っております。稲作につきましては、先般22年産米の収穫予想が発表されましたが、早場地帯の作柄は平年並み、島根県も平年並みと予想されています。作付面積は、戸別所得補償モデル事業参加による引き締め効果もあり、過剰作付は1万ha程度減少すると予測、予想されていますが、21年産米の在庫もあり過剰、供給過剰を懸念しております。先日、先日、JAの買い取り価格が発表されましたが、消費が減って在庫が多い中、各品種とも大幅な下落となり、各方面への影響を見守っているところでございます。また、今年から始まりました米の戸別所得補償モデル対策ですが、全農家数2千604戸のうち、6月現在の加入申請農家数は千646戸、63%となっておりますが、今後農政事務所において審査されることになっております。中山間地域直接支払い制度第3期対策につきましては、5月に制度説明会を開催し、加入の募集をいたしました。7月現在で123協定の申請がなされています。残念ながら前期対策に比べ、若干参加集落が減少しています。続いて、地産地消についてであります。推進体制も整い、現在推進計画の策、策定作業中でございます。また、今年度の具体的な活動といたしましては、町なん、町内産材の活用モデル事業としての瑞穂支所の建設、学校給食における推進、畜産堆肥の活用推進を行なっているところでございます。次に、建設関係の事業について申しあげます。まず、県道改良事業でございますが、浜田作木線雪田工区におきまして、伏谷トンネルの雪田側坑口付近での工事が着工されたのを始め、鳴滝工区も着々と発注準備が進んでおります。また、高見出羽線、邑南飯南線など、平成21年度の経済対策に伴う補正による継続となっている路線も、予定された工区で順次工事を発注していただいております。続きまして、町道改良事業でございますが、継続路線の4路線につきまして既に工事の発注を終えております。また、新規路線であります判場川角線、中野原新山線につきましては、測量調査及び設計業務を進めており、近く詳細設計の地元説明を予定しております。河川砂防関係の事業でございますが、県の委託を受けて継続して実施しております砂田川の砂防工事につきましては、既に発注を終えて工事を進めております。県の河川改修事業としては、新たに堂所川の事前調査に入っていただくことになっております。また、先の豪雨により住居裏の斜面が被災した中日和地区につきましては、県単の急傾斜地崩壊対策事業を割り当てていただいて、いただいたところでございます。農道整備事業でございますが、継続路線であります県事業の徳前地区、町事業の亀谷中地区及び丹渡橋の橋梁塗装舗装、補修工事は、いずれも発注を終えております。林道整備で、整備事業でございますが、継続路線であります県事業の三坂小林線、町事業の本田下線、黒坊線ともに発注を終えており、町事業2路線については今年度で完了する見込みでございます。邑智西部区域特定中山間保全整備事業でございますが、農業基盤の整備工事につきましては、平成21年度工事の補完工事が若干残っておりますが、今年度ですべて完了となる予定でございます。残る工事は、農林業用道路のみとなり、邑南町分では、引き続き第4、第5工区の工事を順次発注していただきます。公営住宅の整備でございますが、住宅の給湯設備整備などの環境改善を目的としたストック改善事業につきましては、三本松団地2棟24戸を発注し工事に

取りかかっております。また、住宅マスタープランの策定につきましては、公営住宅の長寿命化計画とあわせて策定すべく、町民の参画による策定委員会を立ち上げ、策定作業に着手いたしております。災害復旧事業でございますが、6月から7月の集中豪雨による災害は、農地災害11か所、農業施設災害3か所、林道災害3か所、公共土木災害2か所となっております。このうち農地、農業施設災害6か所につきましては既に査定を受けたところでございます。残る災害か所につきましても近く査定を受けて、本年度に復旧する予定としております。次に、上下水道事業について申し上げます。まず、簡易水道事業でございますが、平成21年度から繰り越しをして継続事業をし、しております経済危機対策臨時交付金事業につきましては、予定どおり進んでおり、現在90%の進捗をみております。阿須那簡易水道基幹改良事業の田本水源の送配水施設改良工事につきましては、9月中旬の発注予定で、来年3月に完成の予定でございます。また、新規事業の日貫浄水場施設改良事業の水源調査及び変更認可設計業務委託につきましては、10月の発注予定でございます。続きまして、下水道事業でございますが、平成21年度繰り越しで実施しております経済危機対策等臨時交付金事業につきましては、現在70%の進捗をみております。公共下水道の管渠敷設工事につきましては、日南原、七日市地区は7月に発注を終え、年内には完成の予定でございます。浄化槽市町村整備事業につきましては、現在、15基発注済で、今後順次発注してまいります。次に、学校教育関係について申し上げます。まず、平成21年度の繰越事業の内、きめ細かな臨時交付金事業の内、小学校施設関係の整備につきましては、口羽小学校の校庭外構、石垣工事、高原小学校給食リフト等、全体事業の半分以上につきまして既に発注済でございます。中学校施設関係の整備につきましては、石見中学校の暖房設備配管塗装工事、瑞穂中学校の給食リフト等、これも全体事業の半分以上につきまして既に発注済でございます。給食センター設備関係の整備につきましては、西給食センターの蒸気ボイラー改修工事を既に完了いたしました。続きまして経済危機対策臨時交付金事業の内、瑞穂小学校プール改修工事、羽須美中学校50メートルコースロープ購入などにつきまして、全体事業のほぼ3分の2以上について発注済でございます。安全、安心な学校づくり交付金事業の内、口羽、高原、矢上のそれぞれの小学校への太陽光発電パネル設置事業や口羽、市木、石見東のそれぞれの小学校の耐震補強設計業務などにつきまして、全体事業の3分の1弱が発注済でございます。今後は、未発注事業のうち、耐震工事を除いたものにつきましては年内に発注できるよう準備を進めております。また、理科教育設備整備等補助金事業の理科設備、算数、数学設備につきましては、全て納入を終えております。続きまして、平成21年度の教育委員会の権限に属する事務の点検、評価報告につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づきまして、報告書を議会に提出し、公表しなければならない。と規定されておりますので、本定例会にあわせて提出させていただいております。これは、事務の推進状況につきまして教育委員会において自己点検評価を行い、第三者評価委員会により評価いた、いただいたものを報告書としてまとめたものでございます。なお、評価結果につきましては、今後の教育行政を推進する上での一助としていく予定でございます。続きまして、学び合い型授業づくりについてでございますが、教師力アップ、教師力アップを目指して昨年、邑南町と包括提携いたしました島根大学の山下教授を指導者に、矢上交流センターや市木小学校、瑞穂小学校などを会場に、これ、これまで4回ほど教員による模擬授業や授業形態の実践発表などをおして、教員の授業の持ち方などの技術向上研修を行っております。続きまして、地域と結ぶ学校づくり支援事業の一つとして、夢響きあい塾についてご報告いたします。塾の内、しごとと語り夢かたり講座として中学校の1年生に農業講座、2年生に林業講座、3年生に医療講座を進めておりますが、7月には、中学1、2年生を

対象にそれぞれ3つの中学校において、農業と林業について講義を受けました。最初に役場農林課、役場農林振興課職員が邑南町の現況、概要について講義をし、続いて島根大学生物資源科学部の伊藤勝久教授、また井上憲一准教授による講義を受けました。生徒の皆さんには、これらをきっかけに職業観を高めていただき、邑南町の人材として活躍していただくことを願うものでございます。続きまして、夏休み期間を利用し、児童生徒の学力向上を目指した、おおなんサマースクール2010を、8月17日から20日までの4日間、島根大学の学生にお願いし、町内の小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒のうち希望者、延べ約200人に対して、国語、算数、英語などの特別授業を実施しました。児童生徒の学力向上により将来の選択肢の拡大につながることを願っております。続きまして、外国指導助手ALT、国際交流員CIRにつきましては、2年間お世話になりましたランディーさん、ユウキさんが7月に2年の任期を終えて帰国されました。今後の活躍をお祈り申しあげたいと思います。また、8月2日付けで、新たに外国指導助手ALT2名の方に委嘱状を交付いたしました。小学校担当のALTは、スティーブンさんで男、男性の方、また中学校担当のALTは、ウェンズディさんで女性の方でございます。早速、2学期から教壇で英語指導をしていただいております。なお、小学校にALTを配置いたしましたのは、小学校学習指導要領において平成23年度から第5学年及び第6学年において、外国語活動が位置付けられ、英語を取り扱うことが必要となったことによるものでございます。次に、生涯学習関係について申し上げます。概ね半年を経過し、学校支援地域本部事業やふるさと教育推進事業をはじめ、人権講演会や各種講演、講座、小学校6年生を対象としたサマーボランティア、リーダー研修など事業計画に基づき事業を実施してまいりました。また、町体育協会と連携して、7月29日から8月2日の間日独スポーツ少年団交流会を開催し、矢上高校の生徒や井原公民館空手教室と交流を深めるとともに、8月7日、8日はNEC女子バレーボール部を指導者に招き、小学校から大人までを対象に26チーム、合計270名の参加によるバレーボール教室を開催し、バレーの技術やトレーニング方法などについて学ぶことができました。そのほか、平和教育の一環として、邑南町内にお住まいの品川始さんがシベリア抑留体験をもとに書かれた絵画展の開催や、今年で第23回目となった歩こう広島までなどをおして平和と戦争について考えることができたと考えております。次に、防災関係について申し上げます。災害復旧事業で若干申しあげましたが、7月中旬には、各地で大雨や地震による大きな被害が発生しております。災害により被害を被られた方々に、心よりお見舞い申しあげます。邑南町におきましても公共土木災害や農地、農業用施設等に災害を受け、この度の補正予算に復旧費を計上しております。幸いにも人的被害はございませんでしたが、江の川につきましては、広島県側の大雨により氾濫注意水位を大幅に超えるなど非常に危険な状態が発生したところでございます。こうしたことから、国土交通中国地方整備局、浜田河川国道事務所と連絡をとり、9月2日に上流のダム管理者とともに羽須美地域で出前講座を開催したところでございます。災害はいつ襲ってくるかもしれません。十分な災害対策を組んでおく必要があると考えております。地域での自主防災組織などの組織化を更に進めてまいりたいと考えております。なお、防火水槽など繰越事業で未発注のものが一部ありますが、地域と相談しながらできるだけ早期の発注を考えております。以上、9月議会定例会にあたりまして、本年度の諸施策の概要につきまして中間行政報告をさせていただきます。なお、本定例会に提案いたします議案は、決算認定案8件、条例案3件、補正予算案8件、合わせて19件としております。諸議案の詳細につきましては、後ほど担当課長から説明させることといたしておりますので、何卒、慎重にご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申しあげます。続きまして、諸般の報告をさせていただきます。平成22年第2回邑智郡

総合事務組合議会定例会が8月23日に開催され、平成21年度の事業報告並びに決算報告が承認されましたので、その概要についてご報告申し上げます。お手元に決算書をお配りしていますので、ご覧ください。まず、一般会計でございますが、歳入総額は11億3千618万3千円で前年度に比べ8千240万9千円6.8%の減額でございます。歳出総額は11億1千266万3千円で前年度に比べ7千662万9千円6.4%の減額となっており、歳入歳出差引額及び実質収支額は2千352万円でございます。歳入で主なものは、ふるさと会館償還負担金が6千484万1千円30.4%の減額、し尿処理基金の基金繰入が1千867万8千円65.1%の減額となっています。歳出の主なものは、リサイクル処理費が1千311万5千円17.5%増額となったものの、し尿処理関係経費の減少により清掃費全体で1千716万9千円3.9%の減額となったほか、ふるさと会館償還費、償還費が6千484万1千円30.4%の減額となっています。また、清掃費に关します各処理量につきましては、し尿処理量が、1万1千571キロリットルで前年度に対し182キロリットル1.5%減少しました。その内容といた、いたしましては、構成する3町の合併浄化槽や農業集落排水処理施設、公共下水道処理施設の整備が進む一方で、人口の減少も大きく、生し尿が179キロ、9キロリットル4.8%の減少、浄化槽汚泥も4キロリットル0.1%減少しました。この傾向は今後も続くものと予想されます。ごみ処理量の実績は、ごみ搬入総量が4千618トンで前年度に比べ185トン3.9%減少しましたが、ごみ焼却総量も3千52トンで前年度に比べ100トン3.2%減少しました。次に、介護保険特別会計について申し上げます。歳入総額は35億4千671万3、7千円で前年度より1千529万8千円0.4%の減額でございます。歳出総額は35億989万8千円で前年度に比べ4千566万2千円1.3%の増額となっており、歳入歳出差引額及び実質収支額は3千681万9千円でございます。平成21年度は、第4期介護保険事業計画の初年度となります。被保険者等の状況は、平成22年3月末で、第1号被保険者は8千811人で89人の減、認定者数は2千55人で13人の減、認定率は23.3%で0.1%の増となっています。また、介護サービス受給者数は、居宅サービスは1千218人、地域密着型サービスは74人、施設サービスは449人、合計で1千741人となり13人の増です。保険給付費は、総額32億2千337万9千円で前年度と比べ1億1千322万3千円3.6%の増額となっております。サービスの種類別で大きく伸びたのは、率では訪問入浴介護が171.9%、続いて訪問リハビリテーションが36%の増です。給付費の額では特定施設入居者生活介護が3千799万円、続いて通所介護が2千966万9千円増額しています。一方、減少しているサービスは、率では介護療養型医療施設が18%、続いて福祉用具購入費が17%の減です。給付費の額では介護療養型医療施設が5千423万3千円と大きく減少しています。給付費準備基金につきましては、平成20年度末残高1億9千643万1千円に対し、2千736万9千円取り崩しをいたしました。4千197万円を積み立て、利息80万1千円と合わせ、平成21年度末残高は2億1千183万3千円となりました。また、介護従事者処遇改善臨時特別基金につきましては、平成20年度末残高2千139万6千円に対し、643万5千円取り崩し、利息3万3千円を積み立て、平成21年度末残高は1千499万4千円となりました。介護保険料の収納状況は、平成21年度末の未納額が総額260万9千円で未納者は67人、収納率は99.4%です。未納者に対しては、給付制限などの不利益処分が発生しないよう、事務組合と3町が連携をとりながら早期完全納付の督促活動を継続してまいります。また、平成22年度の一般会計補正予算と介護保険特別会計補正予算が承認されましたが、いずれも繰越金の補正に伴うものでございます。以上ご報告申し上げます。

●議長(三上徹) 以上で、町長の間接行政報告及び諸般の報告は終了いたしました。

~~~~~○~~~~~

#### 日程第4 報告事項

●議長(三上徹) 日程第4、報告事項に入ります。報告第9号、専決処分の報告について。報告第10号、専決処分の報告について。以上2件について報告を求めます。

●田中建設課長(田中節也) 番外。

●議長(三上徹) はい、田中建設課長。

●田中建設課長(田中節也) 報告第9号、専決処分の報告について、ご説明申しあげます。お手元の専決処分書をご覧くださいと思います。専決処分第13号につきましては地方自治法第180条第1項の規定に基づく、議会の議決により指定された町長の専決事項、専決処分事項によりまして8月23日に訴えの提起について専決処分をしたものでございます。専決処分に至る経緯でございますが、邑南町出羽293番地の2、三本松住宅にお住まいの、平成10年から入居されております宮本日出夫氏、この方が平成15年ごろから家賃の滞納が目立つようになっておりました。事情聴取をしまして話し合いによる家賃の分納計画を誓約してもらって一時期は納付に応じていただいておりますが、その後も滞納の繰り返しが続く中で、引き続き改善に向けての話し合いをするために、再三に渡る訪問に対しましても、また役場への来庁要請にも応じない状態が続きまして滞納額が増える一方の状態となってきました。このため設定いたしました期限内に滞納額の納付が無い場合は、住宅の賃貸契約を解除する。こういった通告を弁護士を介しまして行ったことに対しましても、その設定した期限内に何の連絡も無く、その後も誠意ある対応が認められないため、住宅の明け渡しと滞納家賃の支払いなどを求めて訴訟に踏み切ったものでございます。以上でございます。

●日高総務課長(日高禎治) 番外。

●議長(三上徹) はい、日高総務課長。

●日高総務課長(日高禎治) 報告第10号でございますが、地方自治法第180条第1項の規定に基づきまして専決処分を行いましたので、同条第2項の規定に基づき報告をいたします。専決処分書をご覧ください。専決処分第14号でございますが、専決処分の日でございます、は平成22年8月26日でございます。これは平成22年8月12日に邑南町下亀谷210、邑南町郷土館駐車場で草刈りをしていたところ、駐車場に止めてある車輻に小石が飛び、車輻の窓が割れたものでございます。草刈りを行うことにおいて車輻の移動や草刈りに従事してもらった方々に注意喚起なども行っていたところでございますが、予想を超えた小石の飛散があったことによるものでございます。車輻所有、所有で相手方の住所氏名につきましては邑南町高見1036、市山真由美さんでございます。損害賠償の額は3万3千600円で全額、町が加入しております総合賠償保障保険をもって充てておりますのでここにご報告させていただきます。今後はこうしたことが無いよう十分注意喚起したところでございますのでよろしくお願いいたします。

●議長(三上徹) 以上で報告事項は終了いたしました。ここで休憩といたします。再開は、10時30分といたします。

—— 午前10時21分 休憩 ——

—— 午前10時30分 再開 ——

~~~~~○~~~~~

#### 日程第5 議案の上程、説明

●**議長(三上徹)** それでは再開をいたします。続きまして、日程第5、議案の上程、説明に入ります。議案第76号、平成21年度邑南町一般会計歳入歳出決算の認定について。議案第77号、平成21年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第78号、平成21年度邑南町国民健康保険直営診療所事、事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第79号、平成21年度邑南町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第80号、平成21年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第81号、平成21年度邑南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第82号、平成21年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第83号、平成21年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定について。議案第84号、邑南町奨学基金条例の一部改正について。議案第85号、邑南町町営住宅管理条例の一部改正について。議案第86号、邑南町農地有効利用支援整備事業分担金徴収条例の制定について。議案第87号、平成22年度邑南町一般会計補正予算第2号について。議案第88号、平成22年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号について。議案第89号、平成22年度邑南町国民健康保険直営診、直営診療所事業特別会計補正予算第1号について。議案第90号、平成22年度邑南町老人保健事業特別会計補正予算第1号について。議案第91号、平成22年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号について。議案第92号、平成22年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号について。議案第93号、平成22年度邑南町下水道事業特別会計補正予算第2号について。議案第94号、平成22年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号について。以上、19議案を一括上程をいたします。執行部の説明を求めます。

●**石橋町長(石橋良治)** はい、議長。

●**議長(三上徹)** はい、石橋町長。

●**石橋町長(石橋良治)** 億千万千円から議案第83号までの提案理由をご説明申しあげます。これらの議案は、平成21年度の各会計の決算につきまして、議会の議決を求めるものでございます。一般会計につきましては、歳入決算額128億3千464万9千円、歳出決算額125億9千381万3千円、歳入歳出差引2億4千83万6千円となっております。国民健康保険事業特別会計につきましては、歳入決算額14億7千360万9千円、歳出決算額14億5千339万円、歳入歳出差引2千21万9千円となっております。国民健康保険直営診療所事業特別会計につきましては、歳入決算額8千179万7千円、歳出決算額8千5万6千円、歳入歳出差引174万1千円となっております。老人保健事業特別会計につきましては、歳入決算額1千296万8千円、歳出決算額1千267万1千円、歳入歳出差引29万7千円となっております。後期高齢者医療事業特別会計につきましては、歳入決算額3億5千226万7千円、歳出決算額3億5千5万4千円、歳入歳出差引221万3千円となっております。簡易水道事業特別会計につきましては、歳入決算額5億8千100万9千円、歳出決算額5億7千870万9千円、歳入歳出差引230万円となっております。下水道事業特別会計につきましては、歳入決算額11億2千734万4千円、歳出決算額11億2千312万円、歳入歳出差引422万4千円となっております。電気通信事業特別会計につきましては、歳入決算額10億8千3万2千円、歳出決算額10億7千815万1千円、歳入歳出差引188万1千円となっております。一般会計、特別会計合わせまして、歳入決算額175億4千367万8千円、歳出決算額172億6千996万6千円、歳入歳出差引2億7千371万2千円となり、一般会計及び電気通信事業特別会計の繰り越しすべき財源を除いた実質収支は、1億8千151万9千円となっております。以上、そうせ、詳細につきましては、それぞれ担当課長から説

明させますので、よろしく申し上げます。

●藤間財政課長(藤間修) 番外。

●議長(三上徹) はい、藤間財政課長。

●藤間財政課長(藤間修) 議案第76号、平成21年度邑南町一般会計歳入歳出予算、歳入歳出決算の認定について、ご説明申し、申しあげます。決算書の1ページをお開きいた、いただきたいと思ひます。1ページから10ページまで、これは歳入歳出決算書ですが、主な項目の説明は事項別明細書の方において説明いたしますので、ここでは合計額のみ申しあげます。5ページをお開きください。歳入の予算137億4千315万7千円に對しまして、調定額は137億4千779万2千416円、収入済額が128億3千464万9千624円、不納欠損額が56万5千104円、収入未済額が9億1千257万7千688円でございます。続いて9ページをお開きください。歳出の合計でございます。予算額は同額でございます。支出済額は125億9千381万3千494円、翌年度への繰越額、これが10億232万1千円、不用額が1億4千702万2千506円でございます。歳入歳出差し引きいたしますと、2億4千83万6千130円となります。主な項目については事項別明細書で説明いたしますので、まず11ページをお開きください。ページ数が非常に、200ページに及びますので、あのう、主なもののみ説明をさせていただきます。まず町税でございます。調定額が10億9千650、65万885円に對しまして、収入済額が10億6千804万8千490円。不納欠損額、これは75件分でございますが56万5千104円。収入未済額、これは337件分です。2千403万7千291円。収納率が7、97、7%、昨年が97、9でございましたので0、2%下がっております。内訳につきまして、その下の町民税です。不納欠損が34件24万4円、収入未済が135件782万、708万2千405円でございます。中間どころに固定資産税がございます。不納欠損が23件25万3千300円。不納、収入未済額が137件1千609万6千886円でございます。一番下の軽自動車税がございます。これも不納欠損額が18件7万1千800円、収入未済額が65件で85万8千円でございます。続きまして次の13ページから17ページまで、地方特例交付金までですが、これは全部調定額どおり収入になっております。19ページをお開きください。地方交付税です。64億5千407万2千円でございます。普通地方交付税でございますが昨年より4千795万9千円増額、0、7、0、8%増額の58億1千934万6千円でございます。特別地方交付税につきましても前年度対比で6千993万2千円12、4%増の6億3千472万6千円でございます。この欄の地方交付税だけ見ますと昨年よりも1億1千789万1千円1、9%伸びております。後、臨時財政対策債が1億6千300万、30万円伸びておりますので合計いたしますと、1、9%伸びているということになります。その下です。中間どころに分担金及び負担金がございます。これも調定額が1億6千214万3千567円に對しまして1億5千648万217円、566万3千350円収入未済がございます。内訳は農林水産業分担金ですけど、農業費分担金のところに237万3千370円ございます。これは、あのう、過年度分の堆肥化处理施設整備事業の分担金、これ2件分でございます。一番下に負担金がございますが、これも328万9千980円収入未済がございます。これは21ページをお開きいた、いただきますと、先ず民生費分担金、これは、あのう、保育料と介護保険関係ですが19件で324万2千190円の収入未済がございます。それとその2つ下、衛生費の下、下でございますが、教育費負担金、学校給食費負担金が1件4万7千790円、これが収入未済になっております。続きまして下の使用料及び手数料でございますが、1億4千851万5千271円の調定に對しまして、1億4千633万2千371円の収入済で、100、218万2千900円収入未済

がございます。これは次の23ページの中ほど、土木使用料がございます。土木施設使用料、これは住宅料でございますが13件218万2千900円の収入未済がございます。次25ページでございますが国庫支出金でございます。21億3千913万3千614円に対しまして収入は13億6千127万614円と、収入未済が7億7千786万3千円でございます。これは、あのう、全部経済対策の、あのう、繰越明許関係でございます。30ページへ進んでいただきますと、29ページですね、2段目に教育費国庫補助金がございます。これは安心安全な学校づくり太陽光発電関係。これが3千30万、それから理科教育備品関係の補助金が440万、合わせて3千470万円が収入未済ということでございます。総務費補助金の中にも7億4千3、53万8千円という大きな未済がございますが、これも一番下の欄を、から2段目を見ていただきますと、地域活性化経済危機対策臨時交付金。これが3億9千509万6千円、その下の地域活性化公共投資臨時交付金が8千309万3千円。次のページにまいりまして31ページ地域活性化きめ細かな臨時交付金、これが2億6千234万9千円。その下に委託金がございます。これにも262万5千円の収入未済がございますが、これは民生費の児童福祉費委託金で262万5千円、これは、あのう、こども手当システムの導入関係の収入未済でございます。これ合わせますと先ほどの国庫支出金の7億7千786万3千円の収入未済となります。続いて一番下の県支出金でございますが、10億3千490万7千607円の調定額に対しまして9億7千502万9千607円、5千987万8千円の収入未済でございますが、これも35ページへ、へ進んでいただきますと農林水産業費の補助金の中で林業費補助金、これ一番右の下の方になりますけども5千148万円の収入未済がございます。これは、あのう、本田下線の林道、それから黒坊線、これも林道。この二つの繰越明許が5千148万円でございます。その下へ、ずっと下へいきまして消防費補助金という欄がございます。ここにも839万8千円の収入未済がございます。jアラート、全国瞬時警報システムの補助金でございます。41ページへ進んでいただきますと、今度は中ほどの下のところに財産売却収入がございます。土地建物売却収入、これが1億3千403万2千268円でございますが、出羽川の改修分の補償費でございます。これが大きなものがございます。続きまして43ページでございますが、繰入金でございます。基金繰入金でございますが、2番目の減債基金繰入金でございます。これが1億5千614万10万4千円でございます。これは、あのう、繰上償還をいたしまして実際には4億2千349万6千円の繰上償還をしとりますが減債基金を1億5千601万、10万4千円充てて残りは一般財源で対応できたということでございます。

●議長(三上徹) 財政課長さん、ゆっくりやって良いから。

●藤間財政課長(藤間修) それでは45ページでございます。上から2番目の地域福祉基金繰入金でございますが、7千万円。これは、あのう、社会福祉総務費へ充当いたしまして国民健康保険関係の繰出金になったものでございます。そのためのくりとり、繰り、繰入金でございます。それから諸収入が下の方でございますが3億6千750万3千280円の調定に対しまして3億2千455万133円、4千293、5万3千147円収入未済がございます。これも47ページへ飛んでいただきますと貸付金元利収入、住宅新築資金等貸付金元利収入。これが1千366万8千223円9件分でございますが、収入未済がございます。それと中ほどに受託事業収入がございます。造林受託事業収入で森林総合研究所造林受託事業収入、これが2千928万4千924円繰越明許でございます。そして49ページでございますが、雑入でございます。沢山の雑入が、あのう、50ページに項目がございます。で、一番下の99、その他の雑入が3千41万53、538円でございますが、この内訳はクラフト館の事業収入が1千450万円余り、それから森林総合研究所の文化財の受託

事業の収入が3、360万円余り、それから福祉医療の返還金が200万円余り、丹渡橋の負担金が110万円、香木の森の保険関係が100万円、自治研修所の補助金が100万円、はんだげ自然館の物、物品収入が100万円というような細かいものを足しますと3千41万5千538円となります。続きまして一番下の町債でございますが、予算額が14億820万円に対しまして調定額が13億6千490万円となっておりますが、これは、あのう、差額が4千330万円ございますけれども、これも繰越明許費でございます。林道の本田下、黒坊線とかの繰越明許です。町債は明細が沢山ございますが、あのう、過疎債が2億5千380万円、辺地債が5千790万円、公営住宅建設が4千590万円、で、これが大きいんですけども合併特例債で基金を造成しましたので、それも含めまして5億5千170万円、一般公共の林道黒坊線関係ですけども2千160万円、災害関係を全部一緒にしますと2千660万円、そして最後に臨時財政対策債が4億5千70万円。これで合わせまして予算の14億820万円ということでございます。内4千330万円が繰越明許であり、ということでございます。で、53ページですけども一番、54ページの下の方に収入未済が9億1千257万7千688円ございますけれども、繰越明許分が8億6千702万5千924円。で、収入未済が4千555万1千764円となります。そういう内訳でございます。続いて歳出の方でございます。55ページです。まず議会費の支出済額が8千588万699円でございます。続きまして57ページ総務費でございます。22億9千204万8千719円でございます。これも繰越明許費が1億6千565万3千円ございます。まず、一般管理費ですけども12億7千589万6千816円という決算でございますが、主には、あのう、人件費が7、3億7千300万円ござ、ございますけれども、大きなものは61ページへいっていただきまして中ほどに積立金がございます。これが8億7千179万8千990円、これ右を見て、備考欄ですけども地域振興基金積立金、これが5億6千470万円、これが非常に多くなっております。財政調整基金と減債基金を合わせましても3億500万余りでございますので、非常に大きなウェイトを占めております。以下、文書広報費、財政管理費は経常経費でございます。次の63ページの会計管理費まで経常経費です。で、財産管理費がございます。ここに2億、2千700万の繰越明許費がございます。これは地域活性化経済危機対策臨時交付金で口羽小学校の解体費が2千700万円でございます。続きまして65ページでございます。一番頭に工事請負費でございますが、2千748万915円。これは、あのう、旧母子センター、旧商工会等の解体費、それから井原創作館の解体費。これらを合わせまして、そ、こういう決算になっております。それから土地購入費がございますが、旧矢上小学校のプール用地を購入したものでございます。備品購入費でございますが、これは生活対策臨時交付金等を考慮しまして公用車を9台購入しております。こういった備品購入費でございます。これが大きなものでございます。で、中ほどに企画費がございます。7千609万6千559円の決算額でございます。1億2千万円の繰越明許費がございますが、これは、あのう、邑南町研修施設、きめ細かな臨時交付金の関係でございます。ええと、すると67ページでございますが経常経費が主でございますけれども19の負担金補助及び交付金の中に邑智郡総合事務組合負担金が4千333万2千円、一番下に矢上高校教育振興会の補助金が460万円などが主な決算でございます。交通安全対策費は経常経費でございます。続いて69ページ地域振興及び人口定住対策費、これが1億9千566万3千599円の決算でございます。主なものでございますが71ページでございますが、中ほどに負担金補助及び交付金がございます。自治会関係の補助金、これが1億6千688万4千円。で、昨年は定額給付金がありました。下から3番目です。1億2千550万8千円がありますので決算額が非常に大きくなっております。後、支所費等につきましては経常経費が主でございます。73ペー

ジ支所費もそうでございます。で、一番下に情報政策費がございます。2億8千762万6千853円。ここにも経済対策関係の1千865万3千円の繰越明許費がございます。ここまでの合、合計しますと、先ほど総務費の合計の1億6千565万3千円の繰越明許費となります。続きまして75ページでございます。生活交通確保対策事業費、町営バスの運行費と矢上駅の管理費などが主なものでございます。去年は、あのう、76ページの一番下のところにあります備品購入費でございますけども、瑞穂インターチェンジ線のバスを831万6千円で購入しております。続きまして77ページですけども徴税费以下、次の79ページ賦課徴収費、83ページまでは全部経常経費でございます。83ページ選挙費でございます。2段目に町議会議員選挙費がございます。選挙は4月19日でございますが、あのう、事務費と準備費で470万7千949円使っております。続きまして、85ページ衆議院議員選挙費でございます。8月30日に昨年行われましたが1千790万3千379円ということでございます。87ページでございます。統計調査費が中ほどにございますが570万1千615円の決算額ですが、大きなものは農林業センサクが、農林業センサスが昨年ありました。418万1千円、これが一番大きな決算額でございます。続いて89ページ、中ほどに民生費がございます。社会福祉総務費、主にこれも経常経費でございますので、94ページへ進んでいただきますと扶助費の下に繰出金がございます。1億6千946万400、468円でございますが、国保への繰出金なんでございますけども、その一番下に財政調整繰出ということで7千万円。先ほど基金を崩しておりますけども、その関係でここに7、7千万円が載っております。それから2段目の社会福祉施設費でございます。6千653万6千円、これは主なものは工事請負費でございますけども、ごめんなさい。これは、あのう、繰越明許費の工事請負費でございますけども、香梅苑のスプリンクラーの設置。これを4千588万5千円でございます。ほかは指定管理料でございます。老人福祉費、これも、あのう、経常経費ですが昨年場合は備品購入費が425万2千500円でございます。これは緊急通報システムの装置を購入いたしました。経済危機対策臨時交付金です。これが例年と違うところでございます。続きまして95ページ、これも経常経費でございます。それと90、今度は7ページでございますが障害者福祉費沢山の事業がございまして3億1千万円余りのものでございますけども、主にはハーモニーハウス、川本ワークスの訓練棟給付費とか通常の介護給付費、これが2億100万円ござ、ございますが、主に扶助費関係の経常経費でございます。続いて99ページでございますが、これも介護保険事業費でございますが、4億1千177万2千26円と非常に大きな額でございますけども、これも計算事務組合への負担金とか介護予防事業とか任意事業とか、そういった、あのう、経常的な介護保険の経費でございます。101ページでございますが児童福祉費、児童福祉総務費ですけども、これも児童手当が6千700万円余りとか、放課後児童クラブ、子育て支援とか、そういった関係の経常経費ですが、ここにも繰越明許費がございまして7千631万6千円でございます。子ども手当システム、くるみ学園の邑美園のスプリンクラー、西保育所の園庭の拡張とかいった臨時交付金関係での事業が主なものでございます。後、経常経費がずっと続きまして生活保護、106ページ、107ページ、108ページ、107ページでございます。生活、保健衛生、衛生費の保健衛生費でございますが、ここにも繰り、繰越明許費がございます。5千779万円。これは簡易水道事業会計への繰出金でございます。それと110ページ、111ページ、ずっと経常経費でございます。113ページ一番下の予防費でございますが、去年はここに新型インフルエンザの対策費用が1千638万8千円ぐらいでございます。115ページ斎場関係、経常経費です。117ページ中ほどに病院の費がございまして繰出金2億3千653万7千円でございます。清掃費も事務組合への繰出金の経常経費です。ゴミ、し尿の関係です。

下の方に労働費がございます。119ページでございますが、それが例年と違いますのは中ほどに緊急雇用創出事業。これが5千229万4千234円、環境美化とか草刈り、道、道路維持、集落保全とか子ども笑顔きらきら事業とか、そういった関係の雇用創出の事業が新たに21年度から出ております。その一番下のふるさと雇用再生事業費、これもそうでございます。3千257万7千750円。森林の資源活用とか田舎ツーリズム、新産業創出などの関係で雇用創出を行っております。続きまして農業費121ページに入りますが経常経費がずっと続きます。125ページでございます。繰越明許費が工事請負費と負担金補助及び交付金にございますが工事請負の千500万はきめ細かな臨時交付金でハウスの建設。下の補、補助金の方は経済対策の関係で耕畜連携の機械購入の補助で2千581万3千円を繰越明許にしております。それから129ページでございます。農地費でございますけども、ここの中にも繰出金2千222万3千円ございますが、これも下水道関係の繰出金でございます。これもきめ細かな臨時交付金関係です。それから農業基盤整備費でございますが1億1千493万8千428円でございます。これはか、奥谷線と亀谷中、それと三国橋、丹渡橋関係の事業費でございます。133ページへまいります。地籍調査事業、鱒淵、道明、新山、上亀谷、岩屋、日和、日貫といった11地区の地籍調査を行っております。1億2千656万181円でございます。続きまして135ページでございます。林業費でございます。林業費の中にも繰越明許費が1億2千566万3千円ございます。森林総合研究所の造林が3千200万円、本田下と黒坊線が9千366万3千円繰越明許費がございます。137ページでございます。林業振興費、これが1億7千969万7千365円でございます。これは森林総合研究所の造林事業、公社造林の造林事業、町行造林の造林事業関係でございます。それから139ページでございます。林道整備費、これも1億4千411万9千236円でございますが県営事業の三坂小林線、川本布施線、本田下線、黒坊線の改良舗装といった事業費を合わせて、その決、決算額になります。で、9千366万3千円繰越明許ございますが、これが本田下と黒坊線の繰越明許でございます。続きまして141ページの商工費でございます。1億359万8千407円でございますが、ここにもまた繰越明許費がございまして2千200万円。これは瑞穂インターチェンジの看板と道の駅の改修関係の繰越明許費でございます。それから143ページ商工振興費でございます。これは、あのう、昨年と違いますのは一番右の方に下の方に負担金およじ、及び交付金のところに地域振興券の発行補助金が2千793万3千円ございます。これは昨年、地域振興券を生活対策臨時交付金で発行しております。これが大きなものでございます。観光費につきましては道の駅関係、リゾートセンターの管理費、交流センターの管理費、公園維持管理等の経常経費が主なものでございます。145ページの土木費でございます。合計9億9千873万5千970円で、ここにも6千672万円の繰越明許費がございます。まず下水道関係の繰り出しがきめ細かな臨時交付金で3千172万円ございます。続いて147ページ、次のページでございますけども先ほどの下水道関係の繰り出しがございまして、その下に道路橋りょう費がございます。ここにも2千700万円の繰越明許費がございますが、これもきめ細かな臨時交付金の道路維持費関係の繰越明許費でございます。続いて149ページの一番下に道路改良費、まあ、次のページ151ページがよろしいかと思いますが、ずっと続きますけども県営、国県道の負担金が3千335万円と以下道路が菖蒲西、大町原猪子山、高見宇都井、横引上別所、石見中央、田代有安6路線の決算でございます。これが3億6千701万9千324円ということになっております。それから153ページでございますが橋りょう維持費というのがございます。その中にさつま屋橋の委託料。これが620万円ございます。続いて河川費でございます。河川費が1億927万9千812円。ここにも800万円繰越明許費がございますが、これは河川維持費、き

め細かな臨時交付金の関係の繰越明許費でございます。それから153ページの一番下に砂防費でございます。これが砂田川の事業と県単の急傾斜地域の負担金。これが2千400万円でございます。合わせて9千643万1千312円ということでございます。155ページでございます。住宅費に入ります。住宅に、費には管理費及び、あのう、住宅ストック改善関連がございますが、去年は住宅情報基盤整備事業と言いまして2千900万円余りケーブルテレビの宅内配線とか、そういったものに使っておりますのが昨年と大きく違うところでございます。それから157ページ、下の方に住宅建設費がございます。5千943万2千23、234円、日南原の2号団地2棟4戸分の建設費でございます。159ページでございますが消防費でございます。消防費は事務組合の負担が経常経費でございますけども、これにも繰越明許費がございますが161ページへお進みください。次のページへ、それに消防の一番下に設備費がございます。5千321万3千692円。これは大きなものは防火水槽が8基分です。4千200万円ぐらいでございます。ジェ、シューターとかホース等をかり、買いまして7千725万8千円。これは生活対策臨時交付金等を使ったものでございます。さらに今年、ここにも5千101万6千円繰越明許費がございます、経済危機対策でポンプ車、防火水槽等を計上しております。163ページでございます。中ほどの防災費2千248万4千180円。これも大きな額ですけども一番、164ページの右の下に工事請負費がございます。1千493万5千200円。これはページ生活対策臨時交付金で邑智病院へヘリポートを建設したものでございます。ここにも、あのう、繰越明許費が984万3千円ございますが、これは全国瞬時警報システムの整備費を繰越明許としております。続きまして165ページ教育費でございます。合計9億5千804万1千671円でございますが、ここにも繰越明許費がございます。3億1千839万9千円と非常に大きなものでございます。まず一つ目は教育委員会費のところにございますけども740万円、経済危機対策で教員住宅の解体費でございます。事務局費につきましては経常経費でございますので169ページへ進んでいただきましてスクールバス運営費でございます。ここにも大きなものが100、170ページの下から2番目に備品購入費がございます。これは生活対策臨時交付金で日貫線のスクールバスを購入いたしました。千367万1千円でございます。備品購入費が大きなものでございます。続きまして171ページからずっと、あのう、小学校関係の学校管理費でございますが経常経費が主でございますが、中に生活対策関係でケーブルテレビの宅内工事をしたとか、そういった工事が4千700万円余り入っております。さらに繰越明許費が経済対策で瑞穂小のプールとか小改修とか理科備品、安全安心な学校づくりの太陽光とかを合わせまし2億1千859万6千円の非常に大きな繰越明許額となっております。続きまして175ページ、今度は中学校の管理費でございます。こちらもほとんど経常経費でございます。経済危機対策関係でケーブルテレビの宅内工事、3千400万円ぐらいの工事をしてしておりますが、これが例年と違うところでございます。こと、ここにも繰越明許費が2千391万5千円ございまして、これも経済危機対策、羽須美中のプールとか備品関係、改修、理科備品、こういったものを合わせますと、合わ、合わせまして繰越、繰越明許費としております。それから177ページ社会教育費でございます。合計が2億8千157万667円でございますが、これも経常経費が主でございますが、あのう、繰越明許費がござ、がございますけども、これは、あのう、経済危機対策で図書システムとか岩屋久喜銀山の測量でありますとか、角屋であります、の改修でありますとか青少年旅行村のプールの改修とか、そういったもの合わせまして6千万円余りになっております。181ページで、進んでいただきますと今度は公民館費でございます。これも経常経費が主なもの、もんでございます。これにも、あのう、繰越明許費がございまして883万8千円。老人創作館の屋根の改修とか出羽公民館の倉庫でござい

ます。続きまして図書、図書館も過ぎまして社会教育施設費 185 ページでございます。これも 1 千 1 5 5 万の繰越明許費がございますけど、これは少、青少年プールの濾過機の改修でございます。これを繰越明許にしております。187 ページでございます。文化財の関係ですが、余勢の原、八色石関係の調査とはんざけ自然館への補助金、これらを、のものでございます。で、191 ページへ進んでいただきますと、ここに体育施設費が下の方でございます。5 千 3 7 0 万 5 千 5 9 3 円でございますが、この中に、は中野の体育館の屋根 2 千 8 2 8 万 8 千円、旧井原小の体育館の解体が 6 9 9 万 4 千円、経済危機対策でございますけども、これがひ、ひご、昨年より違うところでございます。それから 193 ページ学校給食費でございます。これも経常経費が主でございますが、昨年と違いますのは備品購入費のところ千 6 1 1 万 2 千 2 5 0 円でございますけども、給食車を 3 台購入しております。これが大きな違いでございます。それからここにも繰越明許費がございますが、きめ細かな臨時対、交付金で西給食センターのボイラーの改修を繰越明許としております。それから 193 ページから 95 ページにかけては、ずっと災害復旧関連です。197 ページでございます。中ほどに公債費がございます。27 億 7 千 2 3 7 万、23 万 7 千 8 3 7 円でございます。内繰上償還が元金が 4 億 1 千 6 1 1 万 9 千円、利子が 7 3 7 万 7 千円で 4 億 2 千 3 4 9 万 6 千円の繰上償還をしております。最後になりましたが予備費でございます。3 千万円ございましたけども、充当を 3 3 2 万 8 千円、消防団、団の退職報償金の方へ早期に支払う必要があったために予備費で充当しております。そうしますと一番最後の実質収支に関する調書でございますけども歳入歳出でございます。歳入総額は 1 2 8 億 3 千 4 6 4 万 9 千 6 2 4 円、歳出総額が 1 2 5 億 9 千 3 8 1 万 3 千 4 9 4 円、歳入歳出をさし、歳出差引額が 2 億 4 千 8 3 万 6 千 1 3 0 円、翌年度へ繰り越すべき財源は繰越明許繰越額ですが、でございますが 9 千 2 1 8 万 9 千円。これを差し引きますと実質収支額が 1 億 4 千 8 6 4 万 7 千 1 3 0 円となるというものでございます。以上でございます。

●表町民課長(表正司) 番外。

●議長(三上徹) はい、表町民課長。

●表町民課長(表正司) 議案第 7 7 号平成 21 年度邑南町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申しあげます。1 ページをお開きいただきたいと思っております。1 ページから 8 ページにつきまして歳入歳出決算書ですが、主な項目の説明は事項別明細書において説明いたしますので、ここでは合計額のみ申しあげます。決算書の 3 ページをお開きいただきたいと思っております。まず歳入合計でございますが、予算現額 1 億 4 千、14 億 6 千 7 4 7 万 4 千円として、調定額 14 億 8 千 5 4 1 万 4 千 5 2 3 円、収入済額が 14 億 7 千 3 6 0 万 8 千 8 7 3 円。これは前年度と対比して 2 千 2 7 8 万 6 千円の増額、1.57%の増額となっております。不納欠損額が 1 5 4 万 9 0 0 円、収入未済額 1 千 2 6 万 4 千 7 5 0 円でございます。続きまして歳出の 7 ページをお開きいただきたいと思っております。歳出合計ですが予算現額は同じでして支出済額 14 億 5 千 3 3 8 万 9 千 5 7 1 円、これは前年対比で 7 3 1 万 2 千円の増額、率にして 0.5%の増額でございます。不用額 1 千 4 0 8 万 4 千 4 2 9 円。歳入歳出差引残高が 2 千 2 1 万 9 千 3 0 2 円でございます。主な項目について事項別明細書で説明いたします。9 ページをお開きください。まず歳入の国民健康保険税でございますが、一般被保険者国民健康保険税調定額 16 億、1 億 6 千 8 1 5 万 9 千 9 1 1 円に対して収入済額が 1 億 6 千 4 1 8 万 1 千 3 9 7 円。徴収率にしまして 97.63%でございます。収入未済額が 3 9 7 万 8 千 5 1 4 円、滞納繰越分が調定額 9 3 9 万 3 千 9 5 7 円に対して収入済額が 1 8 1 万 8 千 6 8 7 円。不納欠損額が 1 5 4 万 9 0 0 円となっております。これ 47 件分でございます。収入未済額が 6 0 3 万 4 千 3 7 0 円でございます。続いて退職被保険者分ですが現年度分で調定額が 3 千 1 5

4万9千89円、これに対して収入済額が3千133万6千223円。徴収率にしまして99.33%でございます。収入未済額が21万2千866円、これを先ほどの一般の現年度分の収入未済額合わせて376件分でございます。滞納繰越、退職の滞納繰越分ですが23万3千913円の調定にしまして収入額、収入済額が19万4千913円。収入未済額が3万9千円となっております。分担金ですが特定健康診査等の負担金で576人分の500円、28万8千円の収入でございます。続きまして11ページでございますが国庫支出金でございますが療養給付費負担金。これは療給あるいは老人保健拠出金、介護納付金、後期高齢者医療支援金等の、対する補助金でございます。合計で2億2千526万1千991円でございます。3の高額医療費共同事業負担金ですが歳出の共同事業医療拠出金に伴うものでして、4分の1の収入でございます。457万4千981円。特定健康診査等の負担金は特定健診等の基準額の3分の1に当たるものでして127万2千円の収入でございます。国庫補助金でございますが1億1千591万2千461円。この中には主なもので財政調整交付金の9千729万6千円。これは前年対比にしまして15.03%の減額となっております。特別調整交付金ですが前年対比では1千100万の増となっております。21年度では特調分をいただくことができました。合わせて1千746万9千円でございます。この中には診療所への繰出金分も含んでおります。続いて13ページですが上段の4の介護従事者処遇改善臨時特例交付金、次の出産育児一時金補助金は21年度新規で計上されたものでして、介護従事者の改、処遇改善の分で94万7千461円、出産育児一時金補助金が6件分で20万円の収入となっております。県支出金につきましては6千272万5千981円、前年に対比にしまして8.4%の増となっております。この中でも先ほどの国、国庫と同じように高額医療費共同事業分、事業分ですが4分の1の457万4千981円、特定健康診査分が3、基準額の3分の1分で127万2千円の国庫と同額となっております。県補助金でございますが5千687万9千円。この内の普通調整、普通財政調整交付金が前年対比で言いますと2.79%の減の4千482万7千円。特別調整交付金ですが、これも21年度は特調分は、を貰うことができました。6千、630万円の増額で1千205万2千円の収入となっております。15ページ、16ページですが共同事業交付金、これはレセプトの発生が80万円を超えるものに対しての、まあ、共同事業分として1億5千607万330円の収入となっております。財産収入は基金の利子分でございます。8番の療養給付費交付金、これは退職者医療に係る分でございます。支払基金等からの交付が9千266万7千円がはい、の収入となっております。繰入金でございますが、まず基金の取り崩しですけども最終的に5千576万4千円の基金の取り崩しとなっております。17ページ、18ページですが一般会計繰入金では、先ほど一般会計の決算でも説明がありましたように財政調整繰入金分として7千万円を21年度は繰入金を、こういうふうに取り扱います。一般会計繰入金合わせて1億3千522万1千615円となっております。諸収入の雑入でございますが173万4千49円。これは主なものは過誤調整による診療報酬の返戻金が119万7千円、主なものとしてあります。後、前期高齢者交付金が3億8千499万8千994円の収入でございます。19、19、20ページでございますが歳入合計が調定額14億8千541万4千523円に対して収入未済額が、収入済額が14億7千360万8千873円、不納欠損額154万900円、収入未済額が1千26万4千750円となっております。続いて21ページ歳出でございます。総務費の方では5千211万9千576円。これは、まあ、経常経費分でございます。23ページでございますが運営協議会の運営委員会費ですが、これは運協を2へん、2回開催しております。保険給付費でございますけども、一般被保険者の療養給付費、件数は140件ぐらい増えておりますけども療給の負担金としては前年に対して1.

0.8%の減額。7億5千544万3千375円の支出でございます。退職分につきましては件数も千300件余り減っておりますし、療養給付費に関しても22.6%の減額で7千44万4千259円の支出でございます。後、一般の療養費、補装具等の支出でございますが、これは件数が46件ぐらい伸びておりまして200万1千761円の支出でございます。25ページでございますが、同じく退職の療養ことに、ですが、これは減額となっております36万6千417円の支出でございます。高額療養費ですが一般分につきましては前年に対して2.3%の増、件数につきましても200件ぐらいの210件ぐらいの増となっております9千579万8千563円。退職分につきましては113件ぐらいの減額と864万1千585円の支出でございます。次の一般被保険者高額介護合算療養費が、これは1件の1万927円が発生しております。続いて27ページでございますが出産育児でございますけども、上段ですが10件、昨年度は10件でしたが、前年は10件でしたけども、今、21年度は6件。4件の減少になっておりますが232万円の支出となっております。葬祭費でございますが前年度は3、19件の該当で57万円となっております。老人保健拠出金につきましては支払基金からの通知額で652万1千277円の支出となっております。29ページ、30ページですが介護納付金も決定通知を受けたものでして5千866万4千387円でございます。保健事業でございますが、特定健診の方ですが1千224万7千982円となっておりますが詳細につきましては31ページ、32ページをご覧いただきたいと思っております。この中で主なものは、あのう、人間ドックあるいは健診委託料等の996万1千561円が主なものでございます。それから共同事業拠出金につきましては1千830万226円。これはレセプト80万以上。1件当たり80万以上のものに対する共同事業としての支出でございます。それから同じ保険財政共同安定化事業拠出金ですが33ページ、34ページでございます。これはレセプト1件当たり30万、30万円以上該当するものでして1億3千718万3千655円の支出でございます。基金積立金ですが一般会計から財政調整分として7千万繰り入れていますが、これを利子分と合わせて7千51万7千931円の積立となっております。諸支出金でございますが、一般被保険者の保険税額還付金が81万円、退職者分の保険税還付金が19万400円でございます。それから償還金ですが補助金等の清算に合わせます返還金で122万7千974円の支出でございます。35ページ、36ページをお開きください。繰出金は、ですが465万1千円を直診会計の方へ繰り出ししております。後期高齢者支援金等につきましては支払通知決定に基づきまして1億4千895万4千205円の支出でございます。前期高齢者にあわせましても決定通知をいただいとる42万3千535円の支出でございます。37ページですが予備費は1千22万1千600円の予算に対しまして、なっておりますが、6、備考欄にもありますように60、70万400円を充当しております。さい、実質収支に関する調書ですが歳入総額14億7千360万8千873円、歳出総額14億5千338万9千571円、歳入歳出差引額が2千21万9千302円、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんで実質収支額が2千219万9千302円になっております。続きまして、議案第78号国民健、平成21年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申しあげます。1ページ、2ページをお開きいた、お開きいただきたいと思っております。歳入歳出決算につきましても主な項目の説明は事項別明細書において説明しますので、ここでは合計額のみ申しあげます。まずこの歳入合計ですが、予算現額8千95万3千円、調定額8千179万7千400円、収入済額8千179万7千400円でございます。これ、あのう、昨年度に対しまして1千431万6千円の減額、常勤、7月末の常勤医師退職等によりまして歳入歳出とも減額になっておりますが、歳出の方で、3ページ、4ページの歳出でございます。歳出合計、予算現額8千9

5万3千円、支出済額が8千5万6千422円でございます。不用額が89万6千578円。歳入歳出差引残高が174万618円でございます。主な項目については事項別明細で説明いたします。5ページでございますが、まず診療収入でございます。先ほども昨年7月末より常勤医師退職による減額としましたが診療収入につきましては前年対比で20.8%の減額、3千373万1千631円の収入済でございます。これの内訳につきましては外来収入の中に国民健康保険診療報酬あるいは社会保険診療報酬収入、老人保健診療収入報酬、その他の診療報酬、診療所の内訳がそれぞれでございます。7ページ、8ページをお開きいただきたいと思います。繰入金でございますが一般会計の方の繰入金は4千191万2千円でございます。事業会計の方、繰入金で国保会計の方から465万1千円の繰入金として収入を受け取ります。諸収入の雑入ですが、これは自費分の容器代等の収入でございますして57万8千75円の収入でございます。9ページ、10ページ歳出でございます。総務費の一般管理費でございますが給料、手当、共済費等、まあ、昨年度の、からの医師、常勤医師の退職によりまして前年度よりは1千136万円の減額となっております。合わせて2千373万7千円くらいの人件費分になります。それから11ページ、12ページでございますが、委託料があります。1千990万2千777円、これは前年に対比しまして約900万近くの増額となっておりますが、これは常勤医師退職による邑智病院の院長先生あるいは河野医院の河野院長先生との週2日の体制によりまして委託料等の増分があります。それから医薬費でございますが、医薬品衛生材料費等も減額になってますが650万ぐらいの、前年に対して650万ぐらいの減額となっております。1千380万798円の支出でございます。後、公債費につきましては計上分となっております、となっております。以上、実質収支に関する調書でございますけれども歳入総額が8千179万7千400円、歳出総額が8千5万6千422円、歳入歳出差引額が174万618円、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんで実質収支額が174万618円となっております。続きまして、議案第79号平成21年度邑南町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。1ページ、2ページをお開きください。これにつきましても主な項目につきましては事項別明細書で説明いたします。ここでは合計のみを申し上げます。歳入合計、予算現額1千324万6千円に対して、調定額が1千296万8千464円、収入済額が1千296万8千464円でございます。続きまして3ページでございますが、歳出の合計が予算現額は同額でして支出済額が1千267万1千339円。不用額が57万4千661円でございます。歳入歳出差引残高29万7千125円となっております。主な項目につきましては事項別の5ページをお開きいただきたいと思います。老人保健は、まあ、制度が廃止になりまして2年が立つ、ましたが過誤調整等による支出に対しての収入を受けております。まず支払基金の方で35万1千円、国庫支出金の方で1千118万7千244円でございます。それから県支出金の方では116万5千240円の収入となっております。で、7ページ、8ページでございますが一般会計の繰入金は22万4千円。後、繰越金、諸収入等ありますけれども諸収入の方では、も過誤調整による診療費の返還、へんせん、戻し金が3件ありまして2万3千185円がありまして歳入合計が1千296万8千464円の収入済となっております。歳出でございますが9ページでございます。医療諸費の方ですが医療諸費、老人、この過誤調整分ですけれども61万7千820円の支出となっております。それから医療費の支給費の方が2万1千233円、(3、4語聞き取れず)きます審査支払手数料が19万1千854円の支出でございます。諸支出金の方ですが償還金の方で前年度の交付金の精算金として423万8千630円。一般会計の方へ760万円の繰り出しを計上した、支出しております。以上、老人保健事業会計の方の実質収支に関する調書ですが歳入総額1千296万8千464円、歳出総額1千26

7万1千339円、歳入歳出差引額が29万7千125円、翌年度へ繰り越すべき財源として、がありませんで実質収支は29万7千125円でございます。続きまして、議案第80号平成21年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明申しあげます。1ページ、2ページをお開きください。この会計につきましても主な項目は事項別明細の方で行います。ここでは合計のみ申しあげます。歳入合計ですが予算現額3億5千162万4千円、調定額3億5千227万3千580円、収入済額3億5千226万7千630円、収入未済額は保険料部分でございます500、5千950円となっております。3ページ、4ページの歳出でございますが、歳出合計予算現額は同額でございますして支出済額が3億5千5万4千800円。不用額が156万9千920円。歳入歳出差引残高が221万3千550円となっております。主な項目につきましては事項別明細の方で説明いたします。5ページ、6ページでございます。まず歳入でございますが後期高齢者保険料でございますが特別徴収保険料が、まあ、これ年金引き落とし分でございますけれども5千976万2千240円の収入となっております。普通徴収保険料、口座引き落としあるいは納付書によるものでして2千955万6千770円の調定に対しまして収入は2千955万820円、収入未済額が5千950円、保険料の未済、収入未済となっております。1件分でございます。保険事業委託金でございますが177万8千578円。これは広域連合より委託金として受けるものでございます。それから繰入金につきましては2億4千807万5千円を一般会計の方から繰入となっております。これにつきましては保険基盤安定繰入金の6千155万3千円と療養給付費、医療分に係る1億8千652万2千円の、の繰入となっております。9ページ、10ページでございますが雑入で大きなものがあります。1千201万5千394円。これは療養給付費の精算による返還金として広域連合の方から受ける、たものでございまして、ここに雑入に計上しております。続いて11ページ、12ページの歳出でございますが総務費の一般管理費の方は、で大きなものは負担金の364万9千155円。これは邑智郡総合事務組合のシステムの方への負担金でございます。それから後期高齢者医療広域連合納付金の保険料等の負担金、一番下でございますけど1億5千72万1千999円、これは保険料として広域連合の方へ負担するものでございます。13ページ、14ページを、と思えます。療養給付費の負担金として1億9千211万9千648円を広域連合の方へ負担金として支払っております。前年対比で12.9%の増となっております。保険事業費ですが健診に係るものでして、主なものは委託料の138万9千890円。これ医療機関への方へお支払い、支払っているものでございます。以上このよう、会計の実質収支に関する調書でございますが歳入総額3億5千226万7千630円、歳出総額3億5千5万4千800円、歳入歳出差引額が221万3千550円、翌年度へ繰り越すべき財源がありませんで実質収支額が221万3千550円となっております。以上でございます。よろしく願いいたします。

●松川水道課長(松川好文) 番外。

●議長(三上徹) はい、松川水道課長。

●松川水道課長(松川好文) 議案第81号平成21年度邑南町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明いたします。1ページをお開きいただきたいと思えます。1ページから4ページまでは歳入歳出の決算書でございますが、主な項目の説明につきましては後ほどご説明いたしますので、ここでは合計額のみご説明いたします。予算現額でございますが6億3千836万9千円でございます。調定額が6億3千976万8千220、255円、収入済額が5億8千100万9千177円、収入未済額が5億8千75万9千78円でございます。大変失礼しました。収入未済額が5千875万9千78円でございます。次のページをお開きいただきたいと思えます。歳出でござ

ございますが予算現額は同額でございます。支出済額5億8千、5億7千870万9千551円、翌年度繰越額5千779万円でございます。不用額が186万9千449円でございます。歳入歳出差引残高が229万9千626円でございます。続きまして歳入歳出の主な項目についてご説明いたしますので5ページをお開きいただきたいと思います。まず歳入でございますが分担金及び負担金でございます。収入済額が960万104円でございます。主なものといたしまして水道施設負担金809万8千604円でございます。これは水道支障移転工事に伴いますところの負担金でございます。使用料及び手数料でございます。収入済額が2億820万6千771円で未済額が96万9千78円でございます。収納率につきましては99.54%を見ております。その主なものといたしましては水道使用料でございます、2億759万6千321円でございます。国庫支出金でございますが、収入済額が1千520万円でございます。次のページのところに上段にありますように、これは羽須美地域の基幹改良の補助金でございます。繰入金でございますが3億204万21円の収入を見ておりますが、主なものとし、いたしましては一般会計繰入金が主なものでございます。次のページでございますが町債でございます。4千200万円の収入を見ております。これは備考欄にございますように簡易水道建設事業債でございます。下段の一番下の右側のところでございますが5千875万9千78円の未収を見ておりますが、これはこの内5千779万円は経済対策等の臨時交付金によるものでございます。続きまして11ページ歳出でございます。総務費でございますが1億4千572万4千362円の収入を見ておりますが、この主なものといたしましては下段にありますように需用費2千995万4千526円、その内の主なものといたしましては電気料、修繕料が主なものでございます。役務費でございますが1千615万7千232円。この主なものといたしましては、その他通信運搬費手数料でございます。その他通信運搬費は遠方監視システムの回、基本回線の使用料でございます。また手数料につきましては水質検査手数料が主なものでございます。次の13ページでございます。委託料1千370万9千852円、この主なものといたしましては備考欄にありますように管理委託料、これは遠方監視保守点検でございます。また、あのう、繰越明許費のところ917万円が繰り越しておりますが、これは交付金事業によりますところの水道の遠、水道管理システムの整備事業によるものでございます。工事費でございますが1千985万2千350円、この主なものといたしましては支障移転工事費あるいは交付金によりますところの矢上、日和簡水の濾過池更正工事が主なものでございます。備考欄、失礼しました。繰越明許費の欄の4千862万円につきましても、これ交付金事業でございます。仏一原、断魚あるいは日和簡水の浄水場の改良工事をするものでございます。公課費でございますが540万3千700円を支出しておりますが、主なものといたしまして消費税でございます。簡易水道事業費でございますが、全体で5千725万6千477円を支出しております。主なものといたしましては次のページの工事費5千290万4千250円、これは阿須那簡水の基幹改良の請負工事費で、工事請負費でございます。公債費でございますが全体で3億7千353万3千691円を見ておりますが元利、元金部分と利子部分がそれぞれ2億5千711万6千140円と1億1千641万7千551円でございます。最後のページでございますが、実質収支に関する調書でございます。歳入総額が5億8千100万9千177円で、歳出総額5億7千870万9千551円、歳入歳出差引額、また実質収支額が229万9千626円でございます。続きまして、議案第82号平成21年度邑南町下水道事業特別会計歳入歳出決算に、の認定についてご説明いたします。1ページをお開きください。ここでも先ほどと同様で合計額のみご説明いたします。予算現額が11億8千57万8千円、調定額が11億8千238万4千934円、収入済額が11億2千734万4千709円、収入未済額

が5千504万225円でございます。次のページをお開きいただきたいと思います。歳出でございます。予算現額が11億8千57万8千円、支出済額が11億2千312万446円、翌年度繰越額が5千394万3千円でございます。不用額が351万4千554円、歳入歳出の差引残高が422万4千263円でございます。続きまして決算の主な項目について事項別明細でご説明いたします。5ページをお開きください。まず歳入でございますが分担金負担金でございます。全体で2千45万の収入を見ております。衛生費分担金580万、農林水産業費分担金750万、土木費分担金715万でございます。使用料及び手数料でございますが全体で1億5千252万8千77円の収入を見ておりまして未収、未済額が89万7千225円で、徴収率が99.42%でございます。主なものは生活排水処理の使用料が2千644万7千352円、農業集落排水の使用料が7千903万2千450円、次のページでございますが下水道の使用料が4千704万2千625円でございます。次、国庫支出金でございますが3千456万9千円を見ております。これは衛生費交付金が856万9千円で、これは浄化槽の交付金でございます。土木費交付金が2千600万円、これは公共下水道の交付金でございます。次のページでございますが繰入金でございます。繰入金の主なものといたしましては生活排水処理事業基金繰入金が1千797万5千254円、農業集落排水事業基金繰入金が1千267万円、下水道事業基金繰入金が2千42万4千569円でございます。他会計繰入金、一般会計繰入金でございますが5億1千593万5千円でございます。次のページでございますが、中ほどの町債でございます。全体で3億4千830万円の収入を見ております。内訳は衛生債が3千720万円、農林水産業、農林水産業債が2億660万円、土木債が1億450万円でございます。合計の、あの一番右下のところの収入未済額が5千504万225円となっておりますが、この内5千394万3千円が経済危機対策の臨時交付金によるものでございます。続きまして13ページでございますが歳出でございます。衛生債1億110万1千798円でございます。主なものを、といたしまして需用費が主なもので、その内訳は電気料が主なものでございます。役務費でございますが2千257万1千825円でございますが、この主なものといたしまして手数料が主なもので、この内容は汚泥の引き抜き料でございます。委託料でございますが1千585万8千675円が、主なもので、これは施設管理委託料でございます。生排処理事業債でございますが、全体で5千686万9千985円でございます。内訳として主なものは次のページの工事請負費4千352万6千920円、これは合併浄化槽の設置工事分でございます。農林水産業費でございますが8千851万9千657円、繰越明許費といたしまして2千230、2千222万3千円繰り越ししておりますが、これは交付金事業によるものでございまして、ポンプ購入あるいはマンホール改修あるいはポンプ修繕等々でございます。農林水産業費の支出の主なものとした、いたしまして下段の需用費で3千403万121円。この内の主なものといたしまして電気代、次のページの施設修繕料が主なものでございます。役務費でございますが1千484万2千635円。この主なものといたしましては手数料、これも先ほどと同様に汚泥引き抜き料でございます。委託料でございますが1千539万3千475円、これは施設管理委託料でございます。土木費でございますが全体で1億4千545万4千733円を支出しておりまして下段の需用費1千366万3千532円、主なものとした、しましては右欄のところの電気代が主なものでございます。19ページでございますが同じく委託料でございます。3千566万3千800円を支出しておりまして、これは施設管理委託料でございます。下水道整備費でございます。全体で8千868万9千757円を支出しておりますが21ページでございますが主なものといたしまして工事請負費でございます。5千49万6千600円を支出しております。これは公共下水道事業の工事費でございます。基

金積立金でございますが、積立金といたしまして5千106万9千823円でございます。次のページでございますが公債費でございます。全体で7億3千694万、7万4千435円を支出しております。内訳は元金部分と利子部分でございます。最後のページでございますが、実質収支に関する調書でございます。歳入総額11億2千734万4千709円、歳出総額11億2千312万446円、歳入歳出差引額、また実質収支額でございますが422万4千263円でございます。以上でございます。

●議長(三上徹) ここで休憩といたします。再開は、1時15分といたします。

—— 午前11時58分 休憩 ——

—— 午後1時15分 再開 ——

●議長(三上徹) それでは再開をいたします。

●安原情報推進課長(安原賢二) 番外。

●議長(三上徹) はい、安原情報推進課長。

●安原情報推進課長(安原賢二) 議案第83号平成21年度邑南町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定についてご説明をいたします。決算書の1ページでございますが、詳細は詳細は事項別明細書でご説明をいたします。合計のみ歳入から説明をいたします。予算現額でございますが、歳入合計が11億2千37万2千円、調定額ですが11億2千32万7千492円、収入済額ですが10億8千3万2千9円、それから収入未済額4千29万5千483円でございます。続きまして3ページ、4ページの歳出でございますが、予算現額は歳入の額と同じでございまして、支出済額ですが10億7千、7千815万1千18円、翌年度の繰越額が3千935万8千円、不用額が286万2千982円でございます。続きまして事項別明細書の5ページ、6ページの歳入からでございます。主なところを説明いたします。最初に分担金及び負担金でございますが収入済額は備考欄に書いてある内訳のとおりでございますが、加入負担金が1万円の74件、3万円の1件につきまして合計77万円が収入未済となっております。それから使用料及び手数料でございますが、内訳は備考欄に書いてございまして、最も多いのがNHKの受信料、千836件分の2千920万6千455円以下備考欄のとおりでございます。国庫支出金でございますが、これは高齢者の見守りテレビに関する収入でございまして全額繰り越しをしております。それから県支出金でございますが7ページ、8ページの一番上のところで、元気な地域づくり交付金に係るものでございます。続きまして財産収入でございますが、これはセットトップボックスを売って収入を得たものでございまして、まあ、あのう、単価はいろいろございますが全部で12台分46万7千300円でございます。それから繰入金ですが収入済額は一般会計からの繰入金ですが、繰越分で利用料のウェブ明細システムを入れる500万と一般共聴組合への補助金千365万3千円を足した額が、まあ、翌年度に繰り越すということで収入未済となっております。それから繰越金ですが、これは前年度繰越金でございます。一番下の町債でございますが、これは元気に地域づくり交付金事業を実施いたしましたときの借入金でございまして、まあ、事業費の約3分の2が、ここに出ております。続きまして歳出でございます。11ページ、12ページでございますが、これは歳出の場合は平成20年度分の臨時交付金が21年度分の決算額と一緒にとなっております。経常経費分以外のところで、そのへんが入るところを主に説明をしたいと思います。委託料でございますが備考欄に3番の管理委託料と4のその他委託料でございますけれども、4番目のその他いと、委託料が平成20年度分の臨時交付金でございましてインターネット、IP電話料、メールサーバーの委託料等でございます。それから15の工事費でございますが、これが

全額平成20年度分でございますが、おおなんネットの改良改修工事等々を含んでおります。それとその13、14ページの備品購入費でございますが、これが平成20年度分に、として公用車、それからセットトップボックスを購入しております681万2千78円分が20年度分の交付金でございます。その次の電気通信事業費でございますが、これも経常経費が主なものでございまして15、16ページの委託料の欄でございますが備考欄にございます測量委託費は、これは元気な交付金事業の設計管理料でございまして、繰越明細にあがっております500万が利用料明細のウェブシステムを開発するためのもので翌年に繰り越しとなっております。それから15の工事請負費ですが、このうち臨時交付金分の平成20年度分といたしましてアナログ放送の設備あるいはターミナルアダプターの設置、議会中継の設備等々を含みまして2億985万円が平成20年度分でございます。それから備品購入の内訳は、これはセット、ターミナルアダプターの購入あるいは保守管理用の機器を購入したものでございます。それとその下の負担金及び交付金ですが、これが年度内に実施しましたのが一般共聴の補助金でございまして22万7千250円。残りの千365万3千円につきましては翌年度に繰り越ししております。その下のユビキタスタウンですが、これが、あのう、高齢者のもの、見守りテレビ分でございまして全額繰り越しをしております。それから17、18へいきまして公債費でございますが利子、これも元気な交付金づくり事業の3分の2を借り入れた分の利息でございます。最後のページでございますが、実質収支に関する調書。歳入の総額が10億8千3万2千9円、歳出総額が10億7千815万1千18円、歳入歳出差引額が188万99円から翌年へ繰り越すべき財源4千円を引きまして実質収支額が187万6千991円でございます。以上です。よろしく申し上げます。

●**議長(三上徹)** ここで、地方自治法第199条の規定によりまして、監査委員の決算審査結果の報告を求めます。實田代表監査委員、登壇をお願いいたします。

●**實田監査委員(實田讓)** それでは邑南町の平成21年度決算審査の報告をさせていただきます。平成21年度の審査にあたりましては決算が正確に行われているのかは元よりでございますが21年度の邑南町は国や県から多くの財源を得て様々な事業が行われてきております。このことによって町の財政はどのようになってきたのか、また21年度においてどういう問題点があるのかを念頭に置きまして審査をさせていただきました。それではお手元の審査意見書をお開きください。平成21年度邑南町各会計歳入歳出決算審査意見書。地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成21年度邑南町各会計歳入歳出決算及び証書類、その他政令で定められた書類の審査を終了いたしましたので次のとおり意見を付します。平成22年8月18日、邑南町監査委員實田讓、邑南町監査委員石橋純二、邑南町長石橋良治様。次ページでございます。目次でございますが下記の目次に添いまして報告をさせていただきます。1ページでございます。各会計歳入歳出決算審査意見。第1審査の対象、各会計歳入歳出決算書並びに関係諸帳簿、証書類。平成21年度邑南町一般会計と下記の七つの特別会計のほか、下記附属書類であります。審査の期間、平成22年7月の26日から平成22年8月11日まで、実質18日、13日間行いました。審査の方法、この決算審査にあたり、町長より審査に付された決算報告書に基づき計数を確認するとともに、その会計処理が適正確実に行われているかどうかを検証するため会計帳票及び関係証書類との照合等審査を実施いたしました。審査の結果でございますが、審査に付された各会計歳入歳出決算書及び附属書類の計数は、関係諸帳簿、証書類等を点検審査した結果、いずれも決算計数に相違なく適正に執行されていたものと認めました。また審査の結果の詳細は以下のとおりであります。なお、審査の調査資料の内、一部の統計表において千円未満の端数処理に伴い集計表と誤差がありますので前もってお

断りを申しあげておきます。2ページでございます。決算の概況、はじめにということで本年度は、国の経済及び生活対策関連事業等によって、町の念願であった様々な事業の執行が可能となった年度であると位置付けました。決算収支の状況、平成21年度会計別の決算収支の状況は表のとおりでございます。上の段の表の普通会計は単純に一般会計と電気通信会計を加えた数字となっております。特別会計を合わせた全体の会計の歳入歳出決算総額は合併以来縮小しておりましたが、ここ21年度に来て増加となっております。3ページでございます。普通会計の内の一般会計の概要でございます。平成21年度一般会計における事業は、特別な国の経済及び生活対策関連事業が加わり、教育施設の充実や遊休施設の解体など、様々な事業が執行されて、一般会計の歳入総額は、128億3千464万9千円、前年度比7.9%増、歳出総額は、125億9千381万3千円、前年度比7.6%増となっております。これから以降の普通会計の歳入歳出総額は、前の2ページの表の数字とは相違があります。このことを下記に年度ごとに記載しております。このことは地方財政状況調査における普通会計の歳入歳出総額は一般会計と電気通信事業会計の両会計間に行った取引額をそれぞれ相殺した額となっております。まあ、そのことが1から4に記入してあります。21年度においては4に記入してあります。4ページでございます。普通会計の内の電気通信事業特別会計の概要。決算の概要は表のとおりでございます。ケーブルテレビ加入負担金の未収金が185件で94万1千円と増加しております。よく説明をして徴収に努められるよう要望いたします。審査結果でございます。平成19年度から着手されてきた、おおなんケーブルテレビ事業も完成に近づく試験放送が始められております。放送内容などをよく検討して、町民のニーズに応えられるよう要望をいたします。財政の状況。普通会計の決算状況は表のとおりでございます。下段の方の繰上償還金は4億1千611万9千円と前年度より27.4%増加しております。また一番下の実質単年度収支額も5億7千116万8千円となり前年度より89.7%と大きく増加をしております。5ページでございます。財政指標等の状況は表のとおりでございます。標準財政規模、前年度に比べまして2億円ばかり増加しております。それから地方債の現在高、繰上償還によって減少してきております。それから飛んで積立金の現在高、主に地域振興基金の積み増しで増加をしております。飛んで実質公債費比率、繰上償還や標準財政規模の増加によりまして2.5ポイント改善となっております。経常収支比率、3.1ポイント改善されておりますがまだ以前として危険ラインから脱却はしておりません。審査の結果でございます。財政の健全化を推進していく中で、平成21年度は、普通交付税や臨時財政対策債が昨年度より2億8百万円増加したことから標準財政規模は増大しております。また平成21年度も地方債の繰上償還4億1千6百万円を行って、地方債の発行額も抑制したことから償還額が発行額を上回り地方債の残高は減少しております。地方債の状況表を31ページに付表として添付しておりますので後にご覧ください。標準財政規模、分母の増加に伴い、実質公債費比率など地方債に関わる指標や経常収支比率など改善されております。また積立金は将来の自治振興組織の育成、地域住民の連帯の強化を図る事業推進のために地域振興基金として昨年度に引き続き21年度も5億6千4百万円積み増しがされております。基金積金の状況を32ページに付表として添付しておりますので、これも後にご覧ください。6ページでございます。普通会計の歳入状況、自主、依存財源別の状況は表のとおりでございます。普通会計の歳入決算額は136億4千200万6千円となり、昨年度比3.9%増加しております。自主財源においては財産収入や諸収入など、臨時的な収入で増加しておりますが、これを除けば横ばい状態であります。また依存財源は国からの交付金や交付税、また県支出金が増加となっております。審査結果でございます。普通会計の歳入総額は昨年度より、5億9百万円増加しております。これはほとんど国からの

交付金や交付税、また県支出金などによる増加であります。現在の財政状況はともかく国や県からの財源が、この先同じように持続されるとは考えられず、自主財源に乏しい町財政は少しでも依存財源に頼らない体質づくりが必要であります。7ページであります。普通会計歳出状況、性質別経費の状況は表のとおりでございます。物件費の増加はケーブルテレビ事業に用いる施設や老人ホーム、変更によるものの管理委託料であります。人件費の微増は共済負担金の増加によるものであります。また公債費の増加は繰上償還が増加したもので、補助費、繰出金、投資的経費など国の経済及び生活対策関連事業などにより増加となっております。積立金の減少は地域振興基金への積立額が昨年度の10億円よりは減少したためであります。審査結果でございます。国の経済及び生活対策関連事業などによる事業の増加から費用が増加となっております。不用額について、普通会計では1億4千988万5千円となっております。内訳は下記のとおりであります。内容を精査しましたが事業の執行を怠ったものではないものと認めました。予算の流用、予備費の充当は下記のとおりでございます。8ページでございます。目的別経費、概要は表のとおりでございます。国民健康保険事業特別会計への操出等で民生費の増加となったほか、国からの交付金などに伴う事業が増えて費用が増加しております。一方、地域振興基金の積立が、昨年度は10億円でありましたが、これに比べ減額となり総務費は減少しております。審査結果でございます。国からの経済及び生活対策関連事業に伴う交付金等で、町の念願であった様々な事業が実現可能となっております。このことにより事業が増え、費用も増加しております。6の財産の管理状況、平成21年度中に取得、減少した主な財産の土地建物等、以下の33件であります。説明は省略させていただきます。10ページ、10ページでございます。債権、有価証券、出資、出捐金は次のとおりで、あまり大きな変化はございません。ここも説明は省略させていただきます。11ページでございます。現地踏査、実施日は平成22年8月の3日、1日間行いました。平成21年度施工事業他遊休施設等の12か所を踏査いたしました。平成21年度地域活性化経済危機対策臨時交付金事業として6か所、12ページの道整備交付金事業として1か所、遊休施設について、として4か所。13ページのその他の施設として1か所、以上12か所の現地踏査を行いました。審査意見でございますが平成21年度は長年の懸案でありました遊休施設の解体や老朽施設の改修工事が国の地、地域活性化経済対策臨時交付金事業等により数多く執行されております。このことに、このことは町にとって大変大きな成果であるといえます。借地に建つ遊休施設の解体も進められ、借地の返還も借主の、貸主の理解を得たもの。他にも旧矢上小プール用地の取得や次年度ではありますが瑞穂支所移転による駐車場用地の返還も予定されております。しかし、町内には、幾つかの遊休施設が存在いたします。長期的な展望のもとに解体されることを望みます。また、こうした施設解体後の遊休地の維持管理が課題となりますので売却を含め、新たな活用方法を検討されるよう要望いたします。普通会計審査意見でございます。財政運営について、平成21年度の邑南町の普通会計の内、一般会計の予算は137億4千315万7千円で平成20年度比10.4%増。また電気通信会計は11億2千37万2千円で平成20年度比25.2%減となっております。普通会計においては国からの経済及び生活対策関連事業等により一般会計は増加しております。電気通信会計は平成20年度が事業のピークで平成21年度をもってほぼ完成となり減少したものであります。町財政の判断比率の指標は、普通交付税や臨時財政対策債などにより標準財政規模が昨年度比2.8%増加したことにより、ほとんどの指標は改善となっております。しかし、この先、交付金や交付税など国や県からの財源が同じように確保できるとは考え難く、今後においても楽観視できるものではないと思慮しております。未収金について付表を30ページに添付しておりますが不納欠損処理が昨年度よりは160万円ばかり

増えながら未収金額そのものも320万円前年度より増加しております。不況下で近年未収金が増加傾向にあります。新規先も増加傾向に、増加しておりますが、未収金の各項目を共通して同一人の未収金が高んでおります。増加傾向にありますので、より一層の徴収方法の改善を強く求めます。財務事務について、財務、事務については合併後、よく整理す、されつつありますが、本所にあるべき書類が、未だ支所に保管されており、整理統合をすべきであります。14ページでございます。財産管理について、財産管理については、現在運営上管理されているものは良く管理されておりますが、多くある土地の中でも未登記物件や面積の正確でないものが合併後もそのままの状態となっております。整理するには時間も費用も相当かかりますので計画的に処理されるよう要望いたします。遊休地や遊休施設は、旧矢上小プールを始めとし、大きな物件の解決ができ遊休物件の整理が進みつつあります。今後とも解決に努められるよう要望いたします。公用車であります。合併当時は、所有していた公用車が175台、内法人等の貸与車が37台ありました。徐々に整理されてきましたが、平成21年度に車輛購入により平成22年3月末日で149台、内貸与車が9台となり、昨年の平成21年の3月末と比較しますと12台減少しております。増加しております。人事管理について、人事評価制度の導入を実施はしておりますが、直接人事管理には未だ反映されておられません。速やかに行われるよう要望いたします。また職員数については平成22年4月1日現在で249人となっており定員適正化計画の平成22年4月目標の261人と比較しますと12人減となっており少数精鋭主義に向かって組織づくりが進んでおります。また合併から職員数の減少に伴い人件費が減少となり、人件比率も、人件費比率も低下しております。また平成21年度は人件費そのものは微増となっておりますが国の経済及び生活対策関連事業等により歳出総額、分母が増加したことが人件費比率の低下要因となっております。職員数の推移や人件費比率は次の表のとおりでございます。15ページであります。職員等の交通事故が平成21年度中に9件はつき、発生しております。昨年度よりは減少しておりますが、未だ事故が多いので、今後ともよく指導され事故の皆無に努められるよう要望いたします。16ページでございます。公営事業会計、国民健康保険事業特別会計、決算の概要は表のとおりでございます。2番目の保険税の収入未済額が1千26万5千円で対前年度比6.3%増加しており、一層の徴収努力を要望いたします。審査意見でございます。合併以来、基金を取り崩しながら保険税率を据え置いてきましたが、平成21年度においては、前年度の特別調整交付金、療養給付費負担金等の見込み違いにより、一般会計から7千万円の繰り入れと、さらに15%の保険税を値上げした予算調製がなされております。歳入では特別調整交付金等が前年度より大幅に増額され、歳出では一般分、退職分ともに療養諸費が減少となりました。結果的には一般会計繰入金は基金に繰り入れ、実質収支は2千21万9千円となっております。基金は9千144万4千円となっております。今後も保険基盤についての厳しさは変わりませず、次年度においても保険税の値上げは避けて通れない状況にあります。保健指導のさらなる充実を図り、早期発見早期治療を推奨し、保険基盤の安定に努められるよう要望いたします。17ページであります。国民健康保険直営診療所事業特別会計、決算の概要と審査意見は下記のとおりであります。18ページでございます。老人保健事業特別会計。決算の概要と審査意見は下記のとおりであります。19ページ、後期高齢者医療、医療事業特別会計、決算の概要と審査意見は下記のとおりでございます。20ページの簡易水道事業特別会計と21ページの下水道事業特別会計の決算概要は、それぞれのとおりでございます。両事業ともに邑南町は大変良く整備はされております。簡易水道においては整備率が95.5%。また下水道においては普及率でございますが89%と、大変他の、他市町村と比べますと良く整備がされております。まあ、されておりますが両会計ともに起債の残

高が肥大化しておりまして、事業計画を検討して、今後とも円滑な施設運営が行われるよう要望いたします。22ページでございます。平成21年度財政健全化審査意見書でございます。2番の審査の結果でございます。総合意見、審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認めました。健全化判断比率の実質赤字比率、実質赤、連結実質赤字比率の、は該当する数値はございません。実質公債費比率は19.4%、将来負担比率は181.4%。個別意見でございます。実質赤字比率及び連結実質赤字比率はともに赤字はありませんので、該当する数値はございません。実質公債費比率について、平成21年度の実質公債費比率、過去3年間平均は19.4%となっております。平成20年度算出分の21.9%、3年平均でございますが、と比較して2.5ポイント改善されております。単年度の比率は、平成19年度が22.8%、平成20年度が17.7%、平成21年度が17.9%となっております。平成21年度の数値は、平成20年度と比較しますと0.2ポイント上昇しておりますが、公営企業会計、簡易水道、下水道への繰り出し及び一部事務組合、公立邑智病院等の補助金、又は負担金等の内の地方債の償還財源に充てると認められる額が上昇したものであります。平均値は、早期健全化基準の25%を下回り、健全な数値に近づきつつありますが、全国の市町村平均は11.8%と比較しますと依然として厳しい状況でございます。23ページであります。将来負担比率について、平成21年度の将来負担比率は、181.4%となっており、平成20年度算出分の204%と比較して22.6ポイント改善されております。将来負担比率についても、早期健全化基準の350%を下回っておりますが、全国の市町村平均100.9%と比較した場合には、未だ高い水、水準となっております。是正改善を要する事項、平成19年度から引き続いて、起債発行額の抑制、繰上償還による公債費の縮減を進めた結果、実質公債費比率及び将来負担比率も改善が認められます。しかし、これらの数値は標準財政規模にも左右されるものであり、国の地方財政政策の動向などによって変動することが予想されますので適切な財政計画の立案と計画に沿った財政運営に努められるよう要望いたします。24ページであります。平成21年度簡易水道事業と次ページの下水事業、下水道事業、両特別会計の経営健全化審査意見でございますが一緒に報告をさせていただきます。2の審査の結果でございます。両事業の審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認めました。資金不足比率は両会計ともに該当する数値はございません。個別意見でございます。資金不足比率について、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、両会計の平成21年度決算においては、繰上充用額、支払繰延額、事業繰越額及び建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高のいずれもなく、資金不足はありません。したがって経営健全化基準の20%に該当する数値はございません。是正改善する事項、両会計ともに特に指摘する事項はございません。26ページでございます。基金運用状況調査、審査。審査の対象は平成21年度定額運用基金は、一つは土地開発基金、二つ目は高額療養費貸付基金、三つ目は文化、芸術振興基金、四つ目は奨学基金であります。審査の内容でございます。一つ目の土地開発基金は決算年度中の増減はございません。二つ目の高額療養費貸付基金、前年度末貸与残額が5万9千46円が決算年度中に返済されております。平成21年度における貸付金はありません。三つ目の文化、芸術振興基金、平成21年度中の利用はございません。四つ目の奨学基金、前年度末貸与現在額は3千215万円で、決算年度中に21件の612万円の貸与が行われ、34件の536万円の償還がありました。年度中の貸与、償還差額分76万円が増加し、決算年度末の現在額は3千291万円となり、年度末の現金残額は4千576万2千円となっております。また基金総額は7千867万2千円であります。基

金の表を28ページに添付しておりますので、また後にご覧ください。審査結果でございます。定額運用基金は、それぞれ目的をもって積み立てられた基金であり、町民の教育、文化、医療福祉の向上を図るための基金であり、積極的に活用を図られるよう要望いたします。最後に29ページでございますが、決算審査のまとめでございます。平成21年度の邑南町の決算は、合併以来経費削減などにより、緊縮財政を執ってきましたが平成20年度から始められた国の経済及び生活対策関連事業も平成21年度から本格化し財政規模は大きく膨らんできております。国の経済及び生活対策関連事業による交付金や普通交付税、臨時財政対策債の伸びなどにより、町の念願であった様々な事業に着手できることとなったのは、邑南町にとって非常に大きな成果であると考えられます。また財政状況においては普通交付税、臨時財政対策債などの増加により標準財政規模が増大したことや、公債費の平準化を図って繰上償還が進んでいることなどにより、財政の判断を示す指標となる比率は、ほとんどのものが年々改善されてきております。また基金においても多くの積立ができて財政状況は良い方向に向かってきております。しかしながら、財政の健全度を示す各種指標は、全国の市町村平均とは大きな開きもあり未だ危険ラインからは脱却しておりません。交付税、交付金や国、県からの支出金などの財源は今後縮小していくものと考えられますので、こうした事態を迎えたときに、邑南町の財政運営がゆとりをもって乗り切られるよう、事業においては緊縮財政に耐えうるよう優先的、かつ、メリハリをつけた執行、一層経費の削減、財産運用の見直しや多額化している未収金の徴収等に取り組みまれて財政健全化が、より一層進められるよう一丸となって取り組んでいかれることを強く要望いたし、審査のまとめとさせていただきます。

●**議長(三上徹)** 以上で、實田代表監査委員からの決算審査結果の報告は終わりました。

●**石橋町長(石橋良治)** はい、議長。

●**議長(三上徹)** はい、石橋町長。

●**石橋町長(石橋良治)** それでは議案第84号及び議案第85号の提案理由をご説明申しあげます。まず、議案第84号邑南町奨学基金条例の一部改正についてでございますが、奨学金の一部を償還免除とすることに決定したことに伴い、基金額を改正しようとするものでございます。次に、議案第85号邑南町町営住宅管理条例の一部改正についてでございますが、日南原住宅4戸の解体及び譲渡の手続きが完了しましたので、当該条例を整備しようとするものでございます。詳細についてはそれぞれ担当課長から説明させますのでよろしくお願ひします。

●**細貝学校教育課長(細貝芳弘)** 議長、番外。

●**議長(三上徹)** はい、細貝学校教育課長。

●**細貝学校教育課長(細貝芳弘)** 議案第84号の詳細についてご説明を申しあげます。これにつきましては奨学金の償還免除決定に伴いまして基金総額を36万円減額するため所要の条例改正を行うものでございます。邑南町奨学基金条例第2条の規定中、基金の額を7千831万2千円とするものでございます。これにつきましては、まず経過としまして今年の5月に羽須美地域の町民の方から奨学金の返還申し立てがありました。旧羽須美村の羽須美村田辺奨学金貸付条例にはUターンし、引き続き3年以上居住している者について償還免除の規定がありました。また邑南町奨学基金条例の附則経過措置におきまして、現条例の施行日の前日までに合併前の条例の規定によし、よりなされた処分、手続き、その他の行為は、この条例の相当規定によし、よりなされたものとみなすとの規定があります。また第7条第2項でございますが、特に必要とあると認める場合は償還を猶予し、延長し又は免除することができるとの規定がされておきまして、これらを根拠に調査をいたしました結果、3年以上居住していることが確認されたため6月23日に邑南町奨学基金審査委員会に諮りまし

て奨学金免除について妥当との結論を得て決定したところでございます。対象者でございますが高等学校就学者でございます。合併前の羽須美村田辺奨学金貸付条例の規定によりまして月額1万円の3年分、36万円の貸付を受けていたものでございます。以上、ご審議のほどをよろしくお願い申し上げます。

●**田中建設課長(田中節也)** 番外。

●**議長(三上徹)** はい、田中建設課長。

●**田中建設課長(田中節也)** 議案第85号邑南町町営住宅管理条例の一部改正について詳細をご説明申し上げます。矢上地区の日南原住宅につきましては昭和48年建築の簡易耐火平屋建て4戸を保有しておりましたが、新しく整備いたしました日南原2号の住宅団地の中に公営住宅として新たに2棟4戸を建て替えたところでございます。この建て替えに伴いまして廃止する日南原住宅4戸の解体を計画し、入居者に対しまして住み替え等の意向を確認いたしましたところ、この内1戸につきまして譲渡の希望がありました。したがって譲渡が完了するまでは家賃の徴収が必要でありますので用途廃止の条例改正をせずに昨年度において3棟を解体するとともに国に対しましては、1戸の譲渡処分の承認申請手続きを進めてまいりました。この度、譲渡処分の承認通知が国からあったことを受けまして入居者との譲渡契約が完了いたしましたので日南原住宅の4戸を廃止するために条例を改正するものであります。改正する別表につきましてはお手元にお配りしております新旧対照表でご確認いただきたいと思います。以上でございます。

●**石橋町長(石橋良治)** はい、議長。

●**議長(三上徹)** はい、石橋町長。

●**石橋町長(石橋良治)** 議案第86号の提案理由をご説明申し上げます。これは、邑南町農地有効利用支援整備事業分担金徴収条例を制定しようとするものでございますが、現に農地として利用又は保全されている農地について、耕作放棄地を未然に防止するとともに、将来、将来にわたって農地として有効に活用し、食糧自給力向上に資することを目的として各種事業を実施する際に分担金を徴収するために条例を制定しようとするものでございます。詳細につきましては、建設課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

●**田中建設課長(田中節也)** 番外。

●**議長(三上徹)** はい、田中建設課長。

●**田中建設課長(田中節也)** 議案第86号邑南町農地有効利用支援整備事業分担金徴収条例の制定についてご説明申し上げます。この事業の概要でございますが、この度県におきましては農地の耕作放棄を未然に防止し、将来にわたる有効活用を図るための施策として、農業用水の確保、排水不良の解消、営農機械の導入に必要な道路の整備。こういったものに対しまして事業実施主体となる市町村あるいは土地改良区に対しまして県が補助金を交付することを定めた県単での農地有効利用支援整備事業の実施要綱並びに補助金の交付要綱が定められたところでございます。この要綱によりますと事業の実施要件は実施地区の受益面積が5ha未満の耕作放棄地となる恐れのある農地や、これに関連する農業用施設の簡易な整備について支援するもので、この事業に対する県の補助率は50%と規定されております。町が、この事業を実施するあたり、にあたりまして事業に要する経費の内、補助金を除いた額について分担金として受益者の方から徴収するための条例を制定するものであります。お手元の条例案をご覧くださいと思いますが、第1条と第2条では、この条例の主旨並びに受益者の方からの分担金の徴収を規定しております。それから第3条では分担金の額を規定しております。事業実施に要する費用の内、補助金の額を除いた額以内の額としております。

第4条では分担金の徴収方法、また第5条では罰則として、その科料について規定しております。最後に第6条では委任事項を規定をしております、この条例は平成22年10月1日から施行するものであります。以上でございます。

●議長(三上徹) ここで休憩いたします。再開は、2時20分いたします。

—— 午後 2 時 8 分 休憩 ——

—— 午後 2 時 2 1 分 再開 ——

●議長(三上徹) それでは再開をいたします。

●石橋町長(石橋良治) はい、議長。

●議長(三上徹) はい、石橋町長。

●石橋町長(石橋良治) 議案第87号から第94号までの提案理由をご説明申しあげます。議案第87号平成22年度邑南町一般会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ4億172万9千円を増額するものでございます。議案第88号平成22年度邑南町国民健康保険事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ2千164万1千円を増額するものでございます。議案第89号平成22年度国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号は、歳入歳出それぞれ1千605万3千円を減額するものでございます。議案第90号平成22年度邑南町老人保健事業特別会計補正予算第1号は、歳入歳出それぞれ719万5千円を増額するものでございます。議案第91号平成22年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号は、歳入歳出それぞれ448万7千円を増額するものでございます。議案第92号平成22年度邑南町簡易水道事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ816万1千円を増額するものでございます。議案第93号平成22年度邑南町下水道事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ180万円を減額するものでございます。議案第94号平成22年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号は、歳入歳出それぞれ604万1千円を増額するものでございます。詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明させていただきますのでよろしくお願いします。

●藤間財政課長(藤間修) 番外。

●議長(三上徹) はい、藤間財政課長。

●藤間財政課長(藤間修) 議案第87号平成22年度一般会計補正予算第2号のご説明をいたします。補正予算の1ページをお開きいただきたいと思っております。平成22年度邑南町一般会計補正予算第2号でございます。平成22年度邑南町の一般会計補正予算第2号は次に定めるところによる。第1条といたしまして歳入歳出それぞれ4億172万9千円を増、追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ117億7千200万9千円とする。第2条といたしまして債務負担行為の追加、第3条といたしまして地方債の補正がそれぞれござ、ございます。事項別明細の方にいきま、あのう、歳入歳出補正予算は事項別明細の方でいきますが、まず捲っていただきまして6ページでございます。第2表の債務負担行為補正を先にいたします。固定資産評価審査決定取り消し請求事件に係る裁判費用でございます。平成22年度の訴訟分で水明カントリークラブの関係でございます。平成22年度から事件終了までの期間で限度額は裁判費用としております。続きまして7ページの第3表地方債補正でございます。まず臨時財政対策債、当初10億1千600万円でございますが、それが5億3千330万円、4億8千270万円の減額でございます。それから下の方にまいりまして新規でございますが、急傾斜崩壊対策事業債、これが900万円、以下農地、農業用施設、林道、公共土木合わせまして820万円合わせて千720万円の補正でございます。地方債の合計額は15億5千610万円が10億9千600万円、4億6千550万円の減額になるものでございま

す。続きまして事項別明細書の方にまいりたいと思います。ずっと捲っていただきまして事項別明細の3ページ、歳入のところでございます。まず地方特例交付金これは額が決定いたしました。638万6千円の増額でございます。続きまして地方交付税でございます。これが非常に大きくございまして6億9千433万5千円の増額補正でございます。先ほど臨時財政対策債のところでは4億8千270万円の減額でございましたので合計いたしますと2億1千163万5千円、当初予算に比べまして増額となっております。ちなみに平成21年度に比べましても3億4千853万9千円増額になっております。国の経済対策で当初は臨時財政対策債の方でかなり部分をカバーするということでもございましたけども逆に経済対策で、こちらの地方交付税の方でカバーしている、行く率の方が大きくなったという変更でございます。続きまして分担金及び負担金でございます。分担金の中に農業費分担金、先ほど条例にございましたが農地有効利用支援整備事業分担金、これが600万円でございます。その下が土木費分担金、急傾斜崩壊対策事業費分担金、これは新規中日和の関係で100万円の分担金を計上しております。続きまして4ページでございます。国庫負担金の2段目でございます。現年発生土木災害復旧費の負担金300万円でございます。それから国庫補助金の2段目の民生費国庫補助金の2段目です。生活保護費補助金92万3千円、セーフティネット支援等の対策、対策等事業費補助金が92万3千円きております。続きまして5ページでございます。民生費県補助金の2段目でございます。介護保険事業費補助金千601万2千円。これは小規模多機能型の居宅介護施設の事業の追加分でございます。介護基盤緊急整備施設等整備事業費補助金。これが1千181万2千円、これがハード部分でございます。その下の介護保険施設等整備、施設開設準備特別対策事業費補助金。これがソフト分、これが今420万円。両方とも10分の10の追加の補助金でございます。続きまして農林水産業費県補助金、農業費補助金が871万1千円でございますが、主には農地利用集積円滑化団体基盤整備費補助金、これが520万円。それから農地制度実施円滑化事業費補助金、下の部分でございますが314万5千円、これについては10分の10で、実態調査、農地の実態調査をするための補助金でございます。それからその下に農地費補助金がございます。農地有効利用支援整備費補助金、これ600万円でございますが、先ほど分担金のところにも同じ額、600万円がございまして、これは2分の1づつ負担するものでございます。その下が災害復旧費関係の県補助金が計上さ、しております。続いて委託金でございますが、総務費委託金、来年4月に行われます知事、県議選挙の委託金567万7千円でございます。その下が砂田川ふるさと砂防事業委託金千327万5千円追加がきております。そして6ページでございます。財産収入、土地建物売払収入でございますが328万9千円。これは日南原住宅の土地建物の売り上げ、売り払いでございます。次に寄付金がございますが、ふるさと寄付金が5件で20万9千円でございます。それから繰入金の中で一番下でございますが財政調整基金繰入金7千306万6千円の減額ですけども、これは6月補正のときに、この額を取り崩ささせていただいて財源にしておりますが、今回その部分を戻すということでございます。7ページでございます。繰越金でございますが1億3千864万7千円、当初予算に1千万円組んでおりますので合計いたしまして1億4千864万7千円でございます。諸収入の雑入でございます。千902万8千円、まず浜田作木線の残土処理の雪田の養鶏場団地の建物の取り壊しの補償費でございます。千500万円、それから2番目が島根県の町村会の助成金、これが245万円。その他、あのう、雑入でございますが、まず臨時職員の公務災害、これが70万円。地域ぐるみの子ども読書活動推進事業、これが81万2千円。で、森林総合研究所の文化財の追加、調査の追加が6万6千円。合わせて157万8千円でございます。町債につきましては先ほどご説明申しあげましたので省き、飛ばさせていただきます。9ページで

ございます。歳出にまいります。まず総務費の一般管理費でございます。積立金がございます。減債基金の積立金を2億4千219万7千円させていただきます。ふるさと寄付金は先ほどの寄附の額をそのまま20万9千円積み立てております。次の財産管理費に1千500万円の工事請負費がございますが、先ほど、あのう、雪田の養鶏場の団地の補償費をこれに充てております。企画費につきましては定住支援コーディネーター1名採用を9月1日からいたしますが、これの予算の組み替えでございます。続きまして10ページでございます。まず地域振興及び人口定住対策関係、需用費の修繕費でございますが自治会館、上田所、雪田それぞれの自治会館の修繕でございます。負担金補助及び交付金は、まず負担金につきましては下水道、加茂山住宅。すいません加茂山自治会が、自治会館が加入しますので自治、その加入金。それと補助金につきましては御謝山自治会館の白アリ対策の補助金でございます。それから生活対策、生活こうすう、交通確保対策事業費に1万円と額は少ないですが、川本との協議会の負担金を1万円出し、出しあって事務費とするものでございます。それから徴税費でございます。税務総務費、報償費でございますが平成、これは21年度分の評価額の訴訟の第一審が先日行われましたが、これの手、着手金、これが報償費でございます。それから27万3千円、備品購入費ですけれども、カラープリンターが使用不能になりましたので更新させていただきます。賦課徴収費ですが手数料の100万円、固定資産税の滞納対策の裁判費用でございます。その下の186万9千円と次ページ11ペ、11ページの賃借料でございますが、これは国税連携対策エルタックスの関係の経費でございます。続きまして11ページは選挙費、中ほどに選挙費がございますけれども567万8千円。来年4月に行われます知事、県議選の準備費用でございます。12ページでございます。中段より下に介護保険事業費がございます。千601万3千円、これは、あのう、上の共済費から委託料までは実態調査分析支援の組み替えでございます。一番下の負担金補助及び交付金がございますが歳入のところにありました、小規模多機、多機能型の居宅介護施設、これおおなん福社会へ補助するわけでございますが、追加の補助が10分の10でまいったもの、先ほどの歳入があったものを同額載せております。それから13ページでございますが生活保護費、これはセーフティネット就労支援の事業費92万3千円が歳入にきておりますけれども、それを足した支援事業の追加でございます。それから終わりに、一番下に生活保護費扶助費の中に返還金といたしまして平成21年度のセーフティネット関係の返還金が526万3千円でございます。続きまして4、14ページでございます。中ほどの労働費でございます。これは緊急雇用創出事業費でございますが、伐採した、あのう、樹木。これの産業廃棄物になるものでございますので、これの運搬と処分費これを、あのう、予算を手数料とその他委託料へ組み替えております。リサイクル法の関係でございます。15ページでございます。農業委員会費、先ほど歳入のところにありました農地利用の実態調査、農地法の改正によりまして農業委員会が農地利用の実態調査をするという費用が主なものでございます。農業振興費については補助金、負担金補助、補助及び交付金が745万6千円でございますが、主には700万円農地の貸し手、借り手に対する補助金でございますが、今度は借り手の方に対する支援費が700万円ということでございます。畜産業費につきましては、これはいわみファーム関係の費用でございますが、賃金は放流バルブの確認の賃金でございますが手数料が119万2千円でございますが、一つは弁護士の書類作成の手数料が50万円。それからしん、水質検査関係の手数料が69万2千円、合わせて119万2千円ということでございます。農地費、一番下でございます。これも歳入のところにございましたが農地有効利用支援整備事業、これの600万円が二つございました。その合わせて1千200万円の工事請負費、1万円の一般財源を付けておくという予算でございます。16ページでございます。農業基盤整備事業、これは

亀谷中線の事業費の組み替えでございます。それから中ほどに施設整備管理費がございます。千580万円、土地購入費がございます。これは市木公民館、交流ターミナル費ですけれども市木公民館の用地を取得するものでございます。地籍調査につきましては事業費の組み替えでございます。それから商工費、歳入のところで町村会からの補助金を245万円ございましたが、サテライトオフィスのアドバイザーの関係の歳入が195万円。先駆的事業調査研究費について、まあ、旅費が50万円ございますので195万円と50万円を合わせて245万円の補助が入っているということでございます。続いて17ページでございます。道路橋りょう費でございますが道路維持費について2千485万8千円増額でございます。下の道路新設改良費については各路線の組み替えでございます。それから18ページでございます。河川費の砂防費でございますが、これも歳入のところでございました千327万5千円の追加がございましたが、平成22年度、本年度に砂田川砂防を完了させるということで、その増額でございます。合わせまして一番下の負担金補助及び交付金が1千万円でございますが県単急傾斜の負担金でございますけれども新規の中日和、歳入のところでございましたが800万円。で、森脇谷の追加分が200万円合わせて1千万円でございます。それから19ページ小学校費でございますが学校管理費でございますけれども、まず修繕費です。口羽小学校のフェンスとか日和小学校が矢上小学校に移ると、準備としてランチルームの改修費とかそういった修繕費が215万4千円。備品購入費でございますが、カッター、今ごろシュレッダーですね、ストレートカッターでは事務組合にそのゴミを受け取って貰えないそうでございまして、千切りタイプのクロスカットのシュレッダーが必要ということで4校分、一つ10万円が4校分4、40万円。それから扶助費の方は就学援助対象者の増で、さつ、さ、132万円でございます。中学校費も同様でございます。シュレッダーが1校分と就学援助対象者の増でございます。社会教育費でございます。公民館費の修繕費、市木分館の屋根。それから田、田所の受電設備等で125万4千円、備品購入費は日貫公民館の冷蔵庫、出羽公民館の音響設備等で54万5千円でございます。それから図書館費、これも歳入のところでございました地域ぐるみの子ども読書活動推進事業。これが88万5千円追加でございます。20ページでございますが文化財保護費の中に旧山崎邸の光熱水費、下水道に加入したための光熱費、水費等がございます。それから額は少ないですが歳入のところにありました6万6千円という歳入がありましたけれども森林総合研究所の文化財の調査費、一番上に社会保険料が6万7千円、日和分が増額になっております。それから保健体育費、保健体育総務費に負担金補助及び交付金が20万円、町体育協会補助金っていうのがございますが島根子育て支援事業関係とかで県単の事業でございまして、NECのバレー教室とか野球教室、教室指導、指導教室などで20万円でございます。続きまして20ページから21ページにかけては災害復旧関連でございます。農地災害が11件、施設、農業用施設が3件、林道が3件、公共土木が2件という災害関連の費用を追加しております。以上でございます。

●表町民課長(表正司) 番外。

●議長(三上徹) はい、表町民課長。

●表町民課長(表正司) 議案第88号国民健康保険事業特別会計補正予算第2号についてご説明申し上げます。1ページをお開きいただきたいと思います。歳入歳出予算の補正ですが歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2千164万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億3千987万6、8千円とするものでございます。歳入歳出の説明については予算に関する説明書で行いますので予算に関する説明書の3ページをお開きいただきたいと思います。3ページ歳入でございますが、まず国庫支出金、老人保健拠出金の増額による国庫補、負担金ですが21万9

千円の増額。繰入金ですが国民健康保険事業基金繰入金、6月補正に27万繰り入れしていますが今回戻すものでして減額の27万です。一般会計繰入金から49万6千円増額。繰越金2千21万9千円を今回繰越金として計上するものでございます。4ページの雑入ですが97万7千円の増額です。これは、あのう、特定健康診査に係る受託料でして島根大学との連携事業によるものでございます。雑入で受け、97万7千円を受けるものでございます。5ページ歳出ですが総務の一般管理費に通信運搬費、郵券料不足によるもので96万円の増額するものでございます。老人保健拠出金は決定通知いただいたもので83万2千円の増額。保健事業ですが先ほど島根大学の連携事業のこと触れましたけども、ここで組み替えをしております。それから6ページですが基金の積立金として1千995万円を増額するものでございます。続きまして議案第89号国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第1号についてご説明申しあげます。歳入歳出の総額から歳、1ページでございますが、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1千605万3千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7千814万7千円とするものでございます。歳入歳出の説明については予算に関する説明書で行いますので予算に関する説明書の3ページをお開きいただきたいと思っております。まず3ページの歳入でございます。繰入金ですが一般会計繰入金運営費補てんとして1千830万を減額するものでございます。繰越金は174万円を計上しております。県の補助金で59万7千円を計上しておりますが、これは県の方から話がありまして感染症指定医療機関等施設整備せえいうことで、診療所が3か所ありますけども、あのう、パーティションを交付するということでの補助金をいただくもので59万7千円をここに計上しとります。4ページですが歳出でございます。今回9月1日から赴任いただきました常勤医師藤本先生の関係で組み替えをしております。給料、職員手当、共済費等を減額、それぞれ減額となっております。賃金の7、28万につきましては臨時職員、看護師を、としての28万円を計上しております。今回の常勤医師決定によりまして、これまで週2日体制なり、また4月以降は月曜日に診療ということで医師委託によりまして、おいて、委託しておりましたが、今回委託料を1千万円を減額するものでございます。それから5ページの備品購入費の59万7千円ですが、先ほど言いました県の方からの交付になりますパーティションの3台分の設置でございます。議案第90号老人保健事業特別会計補正予算第1号についてご説明申しあげます。1ページでございますが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ719万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ859万5千円とするものでございます。歳入歳出の説明については予算に関する説明書で行います。3ページをお開きいただきたいと思っております。まず3ページの歳入でございます。支払基金の交付金あるいは、これにつきましては過誤調整分に対するそれぞれの交付金です。支払基金から140万1千円の交付金、それから国庫の方で医療費の負担金分として70万1千円。過年度分につきましては清算分でございます。22万3千円。それから県支出金につきましても医療費負担金の方、老人医療の負担、県負担金と過年度分につきましては清算によるものでございます。それから4ページの一般会計の繰入金ですが事務費分の繰り入れとして3万円の減額。それから繰越金を29万7千円計上しまして。雑入419万7千円、これも過誤調整分の返還分でございます。それから5ページの歳出ですが医療諸費でございますが老人医療費負担金として700万円の計上でござい、増額でございます。それから償還金につきましては支払基金の方へ償還ということで1万7千円。それから一般会計の清算分として17万8千円の繰出金としての計上でございます。続きまして議案第91号後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号についてご説明申しあげます。1ページでございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ448万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億6千448万

7千円とするものでございます。歳入歳出の説明については予算に関する説明書で行います。3ページをお開きいただきたいと思います。3ページの歳入でございます。後期高齢者医療保険料、特別徴収保険料が1千116万9千円の増額です。これは所得確定による、又は納付方法の変更によるものでございます。普通徴収保険料も700、700、所得確定等の、方法の変更によるものでして、ここは731万1千円の減額でございます。滞納繰越分として5千円を今回計上、増額して、計上しております。繰入金是一般会計の繰入金として、事務費分として158万9千円の減額。繰越金を221万3千円を計上しております。4ページですが歳出でございます。保険料の確定のものでして448万7千円、これ広域連合の方へ納めるものとして今回計上しております。以上でございます。よろしくお願いいたします。

●**議長(三上徹)** 先ほどの議案90号に対して町民課長の方から。

●**表町民課長(表正司)** すみません。あのう、ちょっと訂正がありましたので、ここで、あのう、訂正しめしてご了解いただきたいと思います。議案第90号の老人保健事業特別会計補正予算第1号でございますが、予算に関する説明書、歳入歳出の、に予算に関する説明書に平成22年度とすべきところを平成21年度としとりますので、ご訂正をお願いします。

●**議長(三上徹)** 今、言いました議案第90号に対して、町民課長の方から訂正の願いが出ましたけども、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

●**議長(三上徹)** はい、続いて。

●**表町民課長(表正司)** 続いて、議案第91号の後期高齢者医療事業特別会計補正予算でございます。これも同じく予算に関する説明書のところが平成22年度とすべきところ平成22年度となっておりますので、これも、あのう。

●**議長(三上徹)** 20年だ。

●**表町民課長(表正司)** 平成20年度となっておりますので平成22年度に訂正をお願いしたいと思います。大変失礼いたしました。

●**議長(三上徹)** 今、町民課長から訂正の依頼がございましたが、よろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

●**議長(三上徹)** はい、以後、気を付けてください。

●**松川水道課長(松川好文)** 番外。

●**議長(三上徹)** はい、松川水道課長。

●**松川水道課長(松川好文)** 議案第92号簡易水道事業特別会計補正予算第2号についてご説明いたします。1ページをお開きいただきたいと思います。歳入歳出予算の補正でございますが歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ816万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億62万4千円とするものでございます。主な予算の、つきましては後ほど事項別明細でご説明いたしますので、次に移りたいと思います。地方債の補正でございますが地方債の変更は第2表地方債の補正によるものでございます。4ページをお開きいただきたいと思います。第2表地方債補正、起債の目的ですが簡易水道事業債、補正前の限度額が5千300万円、補正後の限度額が5千880万円。508万、80万円の増でございます。地方債合計の額でございますが、先ほど説明した額と同額でございます。続きまして主な予算補正についてのご説明を事項別明細でご説明いたしますので3ページをお開きください。まず歳入でございますが、分担金負担金、水道施設負担金でございますが210万9千円。これは補償工事負担金でございます。国県道事業に係る水道管移転、

支障移転のともなうものでございます。繰入金でございますが一般会計繰入金を194万7千円減額しております。繰越金でございますが前年度繰越分と調製でございます。219万9千円の増でございます。町債でございますが簡易水道事業債580万円の増でございます。次4ページをお開きいただきたいと思います。歳出でございます。総務費でございます。工事請負費221万1千円、これは水道管支障移転工事に、費でございます。次、簡易水道事業費でございますが委託料595万円、これは測量設計委託料で日貫の上水道の水源に係る測量設計費の増額でございます。続きまして議案第93号下水道事業特別会計補正予算、第2号についてご説明いたします。1ページをお開きください。歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ180万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億3千697万5千円とするものでございます。後ほど事項別明細で詳しい内容をご説明いたします。地方債の補正でございますが地方債の変更は第2表地方債補正によるものところでご説明いたします。4ページをお開きください。第2表地方債補正でございます。起債の目的が生活排水処理事業債、補正前の限度額が1千810万円、補正後の限度額が2千70万円、260万円の増でございます。地方債合計額でございますが、補正前の限度額が3億4千170万円、補正後の限度額が3億4千430万円でございます。続きまして事項別明細書におきまして主な予算の内訳をご説明いたします。3ページをお開きください。まず歳入でございますが、分担金負担金でございます。衛生費分担金60万円の増。これは現在、合併浄化槽を20基、本年度計画しとるところでございますが現在15基発注しておる状況でございます。3基増といたしまして本年度23基を設置いたしたく思いまして3基分の60万円を分担金として計上しております。国庫支出金でございますが衛生費交付金でございますが110万7千円。これは3基分の交付金でございます。合併浄化槽3基分の交付金でございます。農林水産業費補助金でございますが1千万の減でございます。これは平成22年度におきまして実施予定しておりました10分の10補助事業でございます低コスト型農業集落排水施設の更新支援事業を本年度採択予定となっておったところでございますが、採択が見込めなくなったために減とするものでございます。次、繰入金でございますが生活排水処理基金繰入金60万円、一般会計繰入金305万4千円の減でございます。繰越金でございますが前年度繰越金の調製でございます。412万4千円を増とするものでございます。雑入でございますが223万、222万3千円で計上しております、これは口羽地内の農業集落排水施設の移転補償費分でございます。町債でございますが衛生債、生活排水処理事業債260万円を増としております。次、5ページでございますが歳出でございます。衛生費でございます。主なものといたしまして工事請負費441万7千円。これは合併浄化槽3基分の工事費でございます。農林水産業費でございますが主なものといたしまして工事費、工事請負費の222万2千円。これは先ほど申しました口羽地内の補償工事費分でございます。次の農業集落排水事業費でございますが1千飛び飛び、飛びの5千円減額しておりますが、これは先ほど申しました低コスト事業分の測量設計費及び事務費でございます。次の6ページでございます。土木費でございますが公課費80万円の増、これは消費税分を見込んだものでございます。基金積立金でございますが60万円の増でございます。以上合計が補正額180万円の減でございます、補正後の合計額が10億3千697万5千円とするものでございます。

●安原情報推進課長(安原賢二) 番外。

●議長(三上徹) はい、安原情報推進課長。

●安原情報推進課長(安原賢二) 議案第94号平成22年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号についてご説明をいたします。平成22年度邑南町電気通信事業特別会計補正予算第2号は次

に定めるところによる。歳入歳出予算の補正でございますが、第1条歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ604万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億9千349万2千円とするものでございます。詳細につきましては説明書について説明をさせていただきます。3ページの歳入からでございますが繰入金で一般会計繰入金金が417万5千円、繰越金でございますが前年度からの繰越金が186万6千円、合計604万1千円でございます。次、4ページの歳出でございますが総務費の一般管理費、一般管理費でございますが給料、職員手当、共済費、賃金のこの人件費に係るものでございますが、今年の3月の5日の日に全国公募をいたしました9名から面接試験を町長、副町長に行っていただきまして現在2名の臨時職員がおりますが、まあ、そのときの条件として半年は臨時、その後適正の試験を行って任期付職員にするというものでございまして10月以降、もし試験に合格すればこういうことになるだろうということを想定しての補正でございまして給料、手当、共済費は増額補正。賃金は減額の補正でございます。それから役務費でございますが、これはカメラ、ONU、ターミナルアダプターの保険料でございます。それから工事請負費は電柱の支障移転に伴う光ケーブルの張替工事にともなう増額の補正でございます。それから備品の購入費でございますがメディアコンバーター1台、落雷によりまして破損したために新規に購入するものでございます。以上ですよろしく申し上げます。

●議長(三上徹) 以上で執行部の説明は終了いたしました。

~~~~~○~~~~~

#### 日程第6 請願文書表

●議長(三上徹) 日程第6、請願文書表を議題といたします。本定例会までに受理いたしております請願は、お手元に配付しております請願文書表のとおりでございます。ここで、お諮りをいたします。請願第2号につきましては、産業建設常任委員会に付託をいたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

●議長(三上徹) 異議なしと認めます。よって、請願第2号につきましては、産業建設常任委員会に付託、付託することに決定をいたしました。

~~~~~○~~~~~

#### 散会宣告

●議長(三上徹) 以上で、本日の日程はすべて議了いたしました。本日は、これにて散会といたします。大変ご苦労さんでございました。

—— 午後 3 時 5 分 散会 ——

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員